

雲南地区ふるさと市町村圏計画

基 本 構 想 [平成13年度～平成22年度]

後期基本計画 [平成18年度～平成22年度]

平成18年12月

島根県雲南広域連合

雲南地区ふるさと市町村圏計画 目次

第1章 計画の策定にあたって

I. 計画の基本事項	
1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の性格	2
3. 計画の区域	2
4. 計画の構成と期間	3

第2章 基本構想

I. 構成市町まちづくりの概要	6
II. 圏域を取り巻く環境の変化	
1. 社会的背景	9
2. 将来人口予測	10
III. 構想の理念	11
IV. 施策の大綱	13

第3章 基本計画

I. ものづくり [産業の振興]	
1. 現状と課題	16
2. 施策の基本的な方向	17
II. イメージづくり [観光の振興]	
1. 現状と課題	19
2. 施策の基本的な方向	19
III. 安心づくり [環境・基盤整備]	
1. 現状と課題	21
2. 施策の基本的な方向	23
IV. 人づくり [教育・文化の振興]	
1. 現状と課題	26
2. 施策の基本的な方向	27
V. 広域活動計画	29

第4章 計画の推進

I. 計画の推進にあたっての民間と行政の役割分担	32
II. 住民の参加	32
III. 行財政の健全化	33
IV. 計画推進の組織体制	34

第5章 資料	35
--------	----

第1章 計画策定にあたって

Ⅰ．計画の基本事項

1．計画策定の趣旨

雲南圏域は、平成13年度に「雲南地区ふるさと市町村圏」の指定を受け、「雲南地区ふるさと市町村圏計画」を策定し、平成13年度から平成22年度までを期間とする基本構想において、「ゆうきの里 雲南 ～旬を感じ、生命を育む～」を基本理念に掲げ、圏域の広域的振興施策を推進してきた。

この間、過疎化・少子高齢化の進行、産業・経済情勢の変化、高度情報化の進展、地球環境問題など圏域を取り巻く環境が大きく変化する中で、平成の大合併といわれる市町村合併が進み、新しい地方自治体に対して、今後の住民サービスのあり方や簡素で効率的な行財政運営が求められている。

こうした社会経済情勢の変化や地方分権の進展、住民ニーズへの的確な対応など時代の要請を踏まえながら、今後5カ年の雲南圏域の総合的かつ一体的な振興・発展に向けた基本的な施策を明らかにするため、基本構想の一部を修正し、後期基本計画を策定する。

2．計画の性格

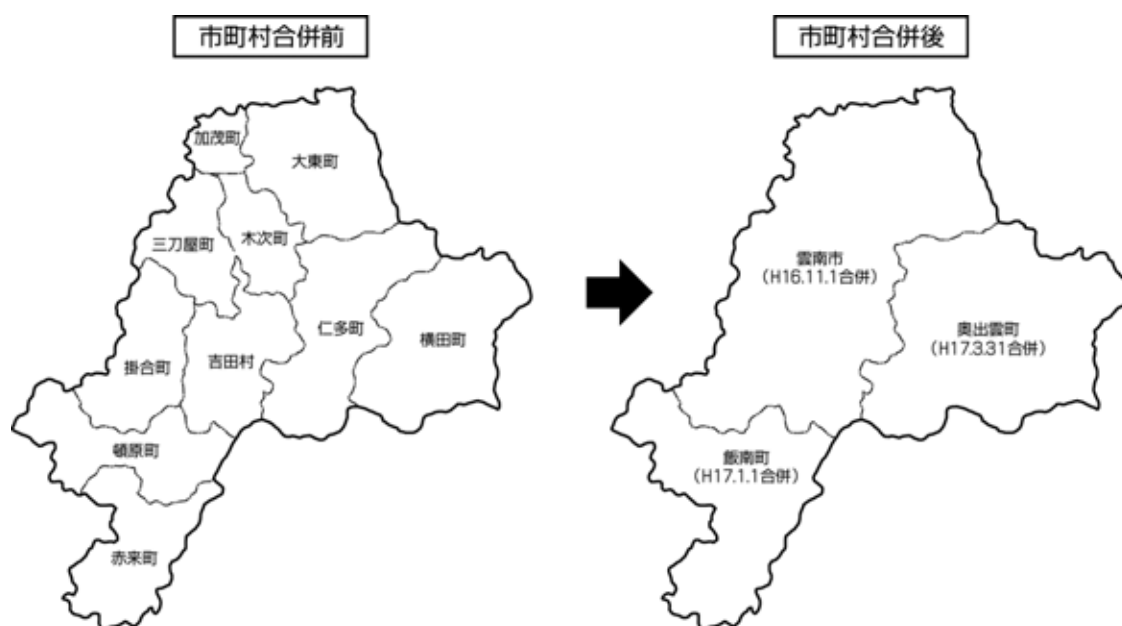
本計画は、圏域を構成する各市町の総合振興計画等を基本として、上位計画である雲南広域連合広域計画との整合性を図りつつ、広域的な地域振興施策の方向性を示すものである。

※「ふるさと市町村圏計画」は、国が定めた「ふるさと市町村圏推進要綱」に基づき、圏域全体の総合的かつ一体的な地域振興を推進するため策定する。

※「広域連合広域計画」は、地方自治法第284条第3項に基づき、広域連合が処理する事務と構成市町が処理する事務を明確にし、連絡調整を図りながら処理する事務を総合的かつ計画的に処理するために策定する。

3．計画の区域

本計画の対象区域は、雲南市、奥出雲町、飯南町の1市2町とする。



4. 計画の構成と期間

本計画は、基本構想、基本計画、実施計画からなる。計画の期間は、平成13年度を初年度とし、平成22年度を目標年度とする10年間とする。

なお、実施計画は別途作成する。

(1) 基本構想 [平成13年度～平成22年度]

本圏域が目標とする地域づくりの方向性を示すもので、圏域の将来像とこれを達成するために必要な施策の大綱を示したものである。

(2) 基本計画 [平成18年度～平成22年度]

基本計画は、基本構想に基づき圏域の一体的、戦略的整備のために必要な重点的施策を示すとともに、ふるさと市町村圏振興基金の果実を活用して行う広域観光ルートづくりや人材育成といった広域的なソフト事業を展開する、広域活動計画を織り込んだものとする。後期基本計画は平成18年度から平成22年度までの5カ年を期間として策定する。

(3) 実施計画

基本計画に示された施策を実現するための具体的な計画で、3カ年を期間とするローリング方式により別途策定することとする。

第 2 章 基本構想

I. 構成市町まちづくりの概要

圏域を構成する1市2町は、それぞれ次のようなまちづくりをめざして施策を展開している。

市町名	雲南市
計画名	雲南市総合計画
策定年月	平成18年9月
計画期間	基本構想 平成19年度～平成26年度、 基本計画 (前期) 平成19年度～平成22年度 (後期) 平成23年度～平成26年度
基本理念 戦略構想	基本理念：「生命（いのち）と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」 『五つの恵み』を活かしながら、ふるさとで生きる豊かさを大切に継承し、発展させていきます。 ① 笑顔あふれる地域の絆 ② 世代がふれあう家族の暮らし ③ 美しい農山村の風景 ④ 多彩な歴史遺産 ⑤ 新鮮で安全な食と農 ＜ふるさとの将来像＞ ○ 市民と行政の協働によるまちづくり ○ 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり ○ 地域で支えあうくらしづくり ○ ふるさとを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり ○ 賑わいあふれる雲南市
基本目標 または 施策の柱	I 市民と行政の協働によるまちづくり《住民自治》 ① 躍動、私の夢、かなうまち ② 参加、みんなの力で創るまち ③ 発信、地域の宝を活かすまち II 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》 ① 神話と自然を活かした田園都市 ② 環境にやさしく住みたくなるまち ③ あたたかい人の和で安心安全なまち III 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》 ① 安心して子育てのできる支えあいのあるまち ② 誰もが生涯健康でいきいきと生きがいをもって暮らせるまち ③ 身近に感じる福祉の窓口づくりと地域医療体制の充実 IV ふるさとを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》 ① 愛といのちを育む教育環境の充実 ② 共に歩む生涯学習社会づくり ③ 人生を豊かにする文化・スポーツの振興 V 賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》 ① 暮らしたくなる、働きたくなる ② 「らしさ」を活かすモノづくり ③ 世代、地域、時代（とき）をこえた交流
主要 プロジェクト	優先プロジェクト ○ 「地域ブランド」の創造 ○ 雲南市の地域ブランド向上による交流事業の拡大

市町名	奥 出 雲 町
計画名	奥出雲町過疎地域自立促進計画
策定年月	平成１７年９ 月
計画期間	平成１７年度～平成２１年度
基本理念 戦略構想	「心豊かで潤いと活力のあるまち」 過疎地域の厳しい現状と時代の潮流の変化を的確に捉え、「地域の自立促進」を基本に、所得向上を図るための産業経済基盤の整備促進と豊かな自然環境の保全や美しい景観の保持・創出を図りながら、生活環境施設整備や少子・高齢社会に対応した地域に根ざした郷土教育と保健福祉医療の充実に努めるものとする。 また、地域からの積極的な情報発信により、定住や地域間交流を促進するとともに、雇用機会の確保・増大を図り、これまで培ってきた歴史・文化を生かした個性豊かで活力に満ちた、自立的で先進的な地域社会の形成に向けた取り組みを推進するものとする。 さらに、費用対効果を十分考慮に入れた各施策の推進に取り組んでいくとともに、効率的な施設の利活用や管理運営を図るため、可能な限り広域的な事業実施を追求し、かつ、これまでの施策についても見直しを図るなど、厳しい財政状況の中で、いかにサービスのレベルを落とさずに、多様化・複雑化している住民ニーズに応えていくのかを追求していかなければならない。 仁多郡二町法定合併協議会においては、委員３０名の新町まちづくり委員会による提言を基に新町建設計画を策定し、「豊かさ」「潤い」「活力」を基本理念とし、基本目標を「心豊かで潤いと活力のあるまち」を推進することとしており、本過疎計画もそれに沿ったものとしている。
基本目標 または 施策の柱	１．定住を高める働き場の確保と居住環境の整備 ２．都市との交流の拡大による地域の自立促進 ３．生きがいに満ちた安心とゆとりの高齢社会の形成と少子化対策及び教育の振興 ４．住民参加のまちづくり ５．健全な財政運営 ６．広域連携による事業の推進
主要 プロジェクト	● 町道整備事業 ● 水道施設整備事業 ● 下水道施設整備事業 ● 農業生産基盤整備事業 ● 情報通信施設整備事業 ● 地域コミュニティ施設整備事業

市町名	飯 南 町
計画名	飯 南 町 総 合 振 興 計 画
策定年月	平成18年10月
計画期間	基本構想 平成18年度～平成27年度、 基本計画 (前期) 平成18年度～平成22年度 (後期) 平成23年度～平成27年度
基本理念 基本構想	基本理念 「小さな田舎（まち）からの『生命地域』宣言」 将 来 像 いのち彩る里 飯南町 ● 豊かな自然を活かしたまち ● 安心して暮らせるまち ● 住民の参画によって育てるまち 基本方針 ① 地域を支える産業を創出するまち ② 豊かな自然を守り、活かすまち ③ 快適で安心できる住みよいまち ④ 住民相互が支え合うみんなにやさしいまち ⑤ 心豊かで創造性あふれる人材を育てるまち ⑥ 住民の自立（律）と行政との協働で運営するまち
基本目標 または 施策の柱	① 地域を支える産業を創出するまち ● 里山の地域資源を活かした産業の創出 ● 安全安心な食材提供と農林業の活性化 ● 地域に密着した商工業の活性化 ② 豊かな自然を守り、活かすまち ● 地域の自然環境の保全 ● 地球環境問題への対応 ③ 快適で安心できる住みよいまち ● 定住の促進 ● 快適に暮らせる生活基盤づくり ● 安心して暮らせる防災・防犯対策の充実 ④ 住民相互が支え合うみんなにやさしいまち ● 保健・医療体制の充実 ● 高齢者等にやさしい環境づくり ● 子育てしやすい環境づくり ● だれもが平等に暮らせる社会づくり ⑤ 心豊かで創造性あふれる人材を育てるまち ● 地域で進める生涯学習の推進 ● 地域との連携による学校教育の充実 ● 里山教育・里山文化の充実 ⑥ 住民の自立（律）と行政との協働で運営するまち ● 地区拠点機能の強化 ● 住民主体のまちづくりの推進 ● 協働で進める行財政運営
主要 プロジェクト	重点プロジェクト ● 里山産業創造プロジェクト ● 都市農村交流・定住プロジェクト ● 生活支援プロジェクト ● 地域力向上プロジェクト

II．圏域を取り巻く環境の変化

1．社会的背景

(1) 市町村合併の実施

市町村合併は、地方分権に対応した自治体基盤を確立するため、平成17年3月末の合併特例法の期限など、法制度の変遷を受け全国で実施された。雲南圏域においては、10カ町村から1市2町に再編され、新たなまちづくりが展開される中で、自治体の行政運営の効率化、財政の健全化を図るとともに、住民の参加、行政と住民の協働によるまちづくりが求められている。今後、圏域の1市2町による連携を強化し、広域的な振興・発展を図っていく必要がある。

(2) 地方分権・行財政改革の推進

地方分権が本格化していく中、地方自治体としての自立性と行財政基盤の充実強化が優先課題となっており、地方交付税の削減、地域経済の動向等が懸念される。今後、簡素で効率的な行財政運営が求められ、分権型社会の進展に向け、地域経営の努力が一層重要となってくる。

また、地方分権改革として、都道府県制度を廃止して広域自治体に再編する「道州制」の導入について、今後、国民的な議論を踏まえてすすめられる。

(3) 過疎化・少子高齢化の進行

少子化・高齢化が進行し、2005年の合計特殊出生率は1.25となり、日本の総人口が減少に転じ始めた。地方は過疎化、少子高齢化の進行により、集落機能の低下、学校等の統廃合、医療・福祉コストの負担増など、地域活力の低下が懸念される。

(4) 産業・経済情勢の変化

農産物の輸入自由化、農業従事者の高齢化、後継者不足等、内外に様々な課題を抱える農業分野をはじめ、地域産業や中心商店街の衰退、雇用情勢の停滞など、地域を取り巻く産業・経済情勢は一段と厳しさを増している。近年、公共事業の大幅な減少により土木・建設業等に大きな影響が出ており、地域経済の活性化、雇用の場の確保が求められている。

(5) 高速自動車道の開通

中国横断自動車道尾道松江線は、平成15年3月に三刀屋木次インターチェンジまでの間が供用開始となり、今後、平成20年代の全線開通に向け整備が進められる。中国縦貫自動車道と直結し時間距離が短縮されると、これまで以上に観光や物流が活発化することが期待される。反面、国道54号を代表とする交通車両減少による影響や若者の都市部への流出による人口減少などが懸念され、その対応策について検討する必要がある。

(6) 高度情報化の進展

圏域の1市2町はCATV網の整備が進められ、ブロードバンドに対応する情報通信環境が整っており、ネットワーク化による地上デジタル放送への対応も図っている。今後、情報通信施設のハード整備に加え、ソフト面の充実等により地域情報化の推進を図っていくことが望まれる。

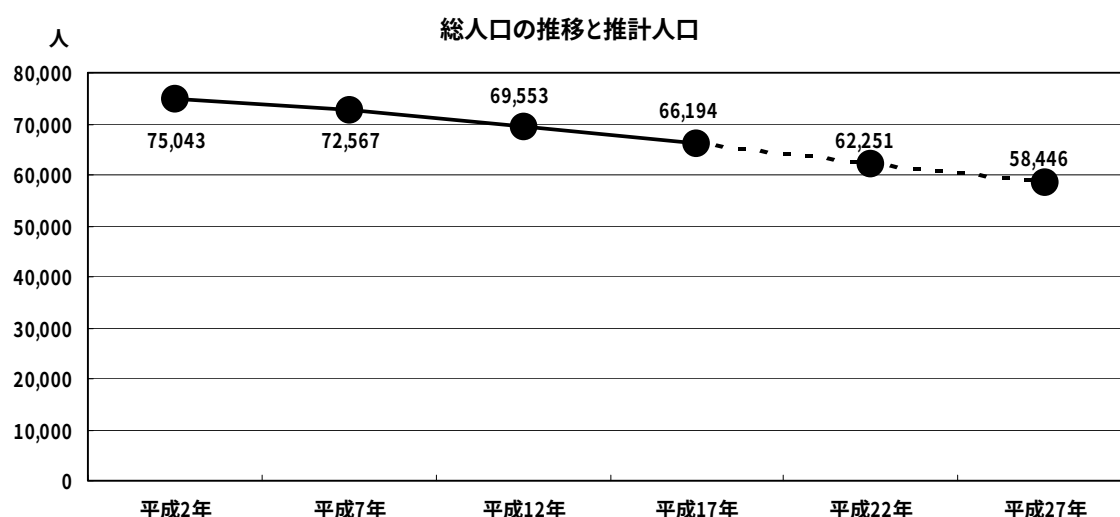
(7) 地球環境問題の深刻化

地球環境問題である大気汚染や地球温暖化、地球規模での環境破壊・環境汚染が深刻化している。美しい自然、豊かな環境を守るため、行政、企業をはじめ、住民一人ひとりが意識を高め、ごみの減量化や資源リサイクル、省エネルギーの促進、自然環境の保全など環境対策に積極的に取り組む必要がある。

2. 将来人口予測

圏域の将来人口については、1市2町のまちづくり計画との整合性を図るため、各市町が計画づくりの際に独自に算出した数値を合算したもので考えていく。

これによると、平成27年には総人口が58,446人となり、平成17年の国勢調査人口と比べて7,748人の減少となる。



市町名	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2010 年	2015 年	備 考
	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	
雲南市	49,612	48,248	46,323	44,403	41,670	39,459	雲南市総合計画(平成 18.9 策定)
奥出雲町	18,100	17,426	16,689	15,812	14,868	13,782	新町建設計画(平成 17.3 策定)
飯南町	7,331	6,893	6,541	5,979	5,713	5,205	飯南町総合振興計画(平成 18.10 策定)
圏域計	75,043	72,567	69,553	66,194	62,251	58,446	

※平成2年～平成17年は国勢調査による。平成12年以前の数値は、旧町村の合計値。

III. 構想の理念

1. 基本理念

本計画の基本理念は、『“ゆうきの里 雲南”基本構想』に示された考え方を継承し、以下のよう
に設定する。

【雲南地区ふるさと市町村圏計画 基本理念】

ゆうきの里 雲南

～旬を感じ、生命を育む～

旬を感じることのできる豊かな自然の中、伝統技術と健康を支えるおいしい農産物を育んできた雲南において、それぞれの市町が持ち味を生かしながら有機的に連携し、ここに住む人々が誇りを持ってゆとりの暮らしを実感できる、人間性豊かな新しい生活の舞台を築き上げていく。

【“ゆうき”の意味】

有 機／各市町と雲南全体の有機的關係、体に安全な有機農業

有 季／季節の変化が明快で、旬を感じることができる地域

勇 気／新しい価値観を受け入れる勇気を持った地域

遊 気／遊び心のある地域

裕 気／心に余裕のある生活が実現できる地域

優 気／互いを思いやる優しさに包まれた地域

“ゆうきの里 雲南”の考え方

【地域イメージ】

- 生活の質を重視した、クオリティオブライフが実現できる地域
- 高度情報化社会のメリットを享受でき、世界に開かれたオープンな地域
- 高齢者や女性の社会進出が容易な、支援体制の充実した地域
- ゆとりの暮らしと充実した余暇活動が展開できる地域
- 安全性が確保され、自然の中で健康に暮らせる地域

社会的背景

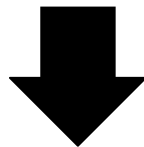
- 生活の質の重視
- 国際化
- 高度情報化社会
- 高齢者・女性支援
- ゆとりの暮らし
- 余暇活動の充実
- 安全性重視
- 自然志向

行政ニーズの変化

- 生活圏の広域化への対応
- 過疎化・高齢化への対応
- 住民ニーズの多様化、高度化への対応
- 地方分権への対応
- 地域の主体性の発揮
- 地域間競争への対応

中山間地域の課題

- 過疎化・高齢化対策
- 農業の再生
- 産業振興
- 生活基盤整備
- 自然資源の活用
- 高度情報化社会への対応



【雲南地区ふるさと市町村圏 基本理念】

ゆうきの里 雲南

～旬を感じ、生命を育む～

IV．施策の大綱

基本理念である“ ゆうきの里 雲南 ”を一体的に実現するため、「ものづくり」、「イメージづくり」、「安心づくり」、「人づくり」の4つの柱のもと、以下のように施策を展開する。

1．ものづくり [産業の振興]

- (1) 多面的な農林業の推進
- (2) 地場産業・商業の振興
- (3) 多様な就労形態の支援

2．イメージづくり [観光の振興]

- (1) ふるさと資源を活用した雲南一体の広域観光振興
- (2) 広域連携事業の推進
- (3) 情報発信による地域イメージの向上

3．安心づくり [環境・基盤整備]

- (1) 安らぎと安心のネットワークづくり
- (2) 雲南をつなぐ情報網の構築
- (3) 雲南を結ぶ利便性・安全性の高い交通基盤の整備
- (4) 快適な生活関連施設の整備
- (5) 地域防災体制の整備
- (6) 自然環境の保全

4．人づくり [教育・文化の振興]

- (1) 地域に根ざした学校教育の充実
- (2) 多様性に富んだ生涯学習活動の展開
- (3) 特色ある文化・芸術活動の推進
- (4) 心かようコミュニティ活動の推進
- (5) 地域を担う人材の育成

第3章 基本計画

I. ものづくり [産業の振興]

1. 現状と課題

(1) 中国横断自動車道尾道松江線の開通と産業への影響

中国横断自動車道尾道松江線は、平成20年代には三次市まで開通する予定となっている。これにより、山陽・関西方面との時間距離が大幅に短縮されることで雲南地域の産業に与える影響は極めて大きいと思われる。

中国横断自動車道尾道松江線の開通により期待される効果としては、農業分野においては交流人口の拡大がもたらす、産直施設、レストラン等への来訪者の増加による農産物の販路拡大、グリーンツーリズム等の都市農村交流の促進による農業・農村の活性化などが考えられる。

また、企業立地条件の向上、観光施設への入込み客の増加、さらに通勤・通学圏の拡大やU・Iターン者向け住宅の開発等による定住人口の増加も期待される。

その一方で、都市部への購買力の流出、国道54号を代表とする既存道路の交通量減少による地元商店等の衰退、圏域が通過点となることによる滞在型観光客や立ち寄り観光客の減少、さらには若者の都市部への人口流出の進行などが懸念されることから、プラス効果を最大限に引き出し、マイナス効果を最小限に抑えるための戦略的な施策展開を今から進めておく必要がある。

(2) 農林業

圏域は山間地から平坦地まで存在する地勢で条件不利地域を多く抱えており、水稻を中心とする小規模経営が主流である。農業従事者は高齢化しており、後継者不足に加え、有害鳥獣被害、農産物の輸入自由化、農産物価格の低迷等、農業を取り巻く厳しい状況の中で営農意欲が低下しているのが現状である。

こうした中、女性や高齢者を中心に農産物の直売や加工品製造等の取り組みが盛んに行われている地域もある。今後は、消費者の食の安全や食生活に対するニーズが高まっていることを踏まえ、農畜産物のPR活動や都市農村交流等を通じて安全・安心な農産物としての雲南ブランドのイメージアップを図りながら、積極的な生産・販売戦略を展開していくことが望まれる。

林業分野においては、農業と同じく林業従事者の高齢化、後継者不足の問題を抱え、さらには材木価格の低迷等により所有者の森林に対する施業意識が低下しつつあり、人工造林の管理放置等による山林の荒廃が進んでいる。

このような現状の中、産業資源としての森林から、国土保全やグリーンツーリズムの舞台としての役割といった、環境・景観としての森林に着目した森林の保全を図っていくことが課題となる。

(3) 地場産業・工業

圏域の一部地域で、誘致企業を中心とする工業集積、工場の拡張等が見られ、地域経済を支える担い手として、また、就業の場として大きな役割を担っている。

その一方で、公共事業の減少に伴い、土木・建設業を中心に大きな影響を受けている。圏域内の産業に占める土木・建設業等の比重は高く、今後さらに公共事業が縮小していけば深刻な事態になることが予想され、これらの企業は農業をはじめとした幅広い産業分野への新規参入

を図るなどの対応策をとっている。

今後は、このような動きを含めて多角化、起業化を図るなど、経済状況の変化に柔軟に対応していく必要がある。

(4) 商 業

圏域内には、三刀屋木次インターチェンジ周辺の国道54号沿いに商業集積が見られるが、近年、近隣の都市部へ購買力が流出し、個人商店等の小売業の衰退が進んでいる。

前述のように、中国横断自動車道尾道松江線の開通により国道54号の交通量の変化が予想されるとともに、都市部への利便性が高まることによりさらなる購買力の流出も懸念されることから、将来を見据えた中長期的な対策を検討していく必要に迫られている。

(5) 就 労

景気回復により全体の雇用情勢が上向く一方、地域格差が鮮明になりつつあり、地域経済における産業構造、企業の合理化等により、依然として雇用情勢は厳しい状況にある。

さらに、「2007年問題」といわれる団塊の世代の退職が間近に迫っており、これが雇用面でどのような影響を及ぼすかを見極める必要がある。

2. 施策の基本的な方向

(1) 多面的な農林業の推進

①農産物の販路拡大と都市農村交流の促進

中国横断自動車道尾道松江線開通のプラス効果として、交流人口の拡大が期待できる。「ゆうきの里 雲南」としての地域イメージを活用した積極的なPR展開により、産直施設等を通じた農産物の販路拡大、都市住民による農業体験等のグリーンツーリズムなど都市と農村の交流を促進する。

②担い手の育成・確保

認定農業者、集落営農組織、法人等の担い手の育成・確保を図るため、農業基盤・施設整備の支援を行うとともに、農地の流動化・集約化を促し、生産規模の拡大を図る。

③農地の保全

耕作放棄地の発生を防ぐため、集落営農や各種制度や事業（中山間地域等直接支払制度、農地・水・環境保全向上対策等）の導入により、地域ぐるみで農地の保全に努める。

④多様な農畜産業の振興、農地の有効利用

高冷地野菜など地域特性を活かした米・野菜・果樹・花卉等の多様な農産物の生産振興を図るとともに、耕畜連携による飼料作物の生産、放牧の推進等など、農地の有効利用を図る。

⑤環境保全型農業の推進

環境保全型農業の生産体制を確立し、消費者に顔の見える販売を通して、安心・安全で、おいしい雲南農産物のブランド化を図る。

⑥地産地消の推進、高収益作物の開拓・導入、農業の6次産業化の促進

地産地消の推進、地域の特性を生かした高付加価値農産物、生産から加工・販売まで一貫した農業の6次産業化を促進し、魅力ある農業をめざす。

⑦林地の適正な保育管理と森林空間の活用

林業の担い手の育成・確保、林道・作業道の整備等を図り、造林地の適正な保育管理に努めるとともに、森林資源の有効利用、森林空間の多様な活用を推進する。

⑧中山間地域研究センターの活用

地域の活性化、まちづくりの促進及び農林業の振興を図るため、島根県中山間地域研究センターを積極的に活用する。

(2) 地場産業・商業の振興

①中国横断自動車道尾道松江線開通を見越した産業戦略の構築

高速道の開通を見越した産業戦略を構築し、商工業への影響と対応策について検討する。

②地域産品の積極的な情報発信

雲南地域の魅力ある地域産品について、各種フェアへの出店、インターネットのホームページ等により積極的に情報発信に努めるとともに、ITを利用した通信販売の実施など情報化社会に対応したビジネス機会の拡大に努める。

③地域産品の販路拡大

圏域の特産品について、圏域内の観光施設や道の駅等を活用し販売促進に努め、また、各種イベントへの出店や都市部の店舗での定期的な販売等を通じ、販路の拡大に努める。

④商工会機能の強化による地元商工業者の支援

各市町において、商工会の広域合併により商工会機能の強化を図り、地元商工業者に対する支援、経営改善等を促していく。

(3) 多様な就労形態の支援

①新規雇用の創出

起業化支援、地場産業の育成、企業誘致の促進、さらには自治体の指定管理者制度、外部委託事業等による多様な就労の場の創出に努める。

II. イメージづくり [観光の振興]

1. 現状と課題

圏域は自然、歴史、文化など多くの観光資源に恵まれている。また、平成10年よりJR木次線においてトロッコ列車を季節運行し、沿線観光と関連づけて利用促進を図っている。

しかし、これらの地域資源を観光集客に十分活かしきっていないのが現状であり、観光・レジャーのニーズが多様化している中で、圏域内の観光施設、道の駅、産直市など観光産業の連携を図り、来訪者に対し、雲南地域の様々な魅力に触れ感じていただける観光地づくりが課題となっている。また、体験型・滞在型観光メニューの開発や受け入れ体制の確立、経済効果を生み出す仕組みづくり、圏域の知名度向上のための一体的なPR活動等も積極的に推進していく必要がある。

最近、雲南を舞台とした映画の撮影も行われており、地域イメージを高める絶好の機会となっている。特に、中国横断自動車道尾道松江線の開通により交流人口の拡大が期待できることから、高速道路網の積極的な活用により山陽、四国、関西、九州方面からの誘客を図る観光振興策を検討していかなければならない。

2. 施策の基本的な方向

(1) ふるさと資源を活用した雲南一体の広域観光振興

①高速道の開通及び尾原ダム・志津見ダムの完成を見越した積極的な観光戦略の推進

高速道の開通及び尾原ダム・志津見ダムの完成を見越した観光戦略を構築し、雲南一体となった観光地づくりを推進する。

②観光施設の連携、ルート化による広域観光振興策の推進

圏域内の既存観光施設間の連携、広域観光ルート化による集客力向上を図るため、行政、観光協会、関係団体等が強力に連携し、雲南一体となった広域観光振興策を推進する。

③地域資源の活用と観光地の魅力創出

恵まれた自然、神話、食などを活かし、都市農村交流、グリーンツーリズムなど関係団体間の連携を図りながら、体験型観光メニューの開発等、目的地となる条件整備を行う。

④観光情報の収集・提供・PRの推進

圏域の観光案内サービス、インターネット等による情報提供を充実し、圏域内の観光情報の収集・提供・PRに努める。

（２）広域連携事業の推進

①隣接する圏域との連携による一体的な観光事業の推進

雲南圏域を越えた連携事業として、松江、出雲、石見等、隣接する圏域との連携を図り、一体となった観光事業の展開を図る。特に、石見銀山遺跡の世界遺産登録に向け、関西、山陽、四国方面から東側の玄関口として連携を強めていく。

②観光客誘客対策の取組み

広島県、岡山県をはじめ県外からの観光客誘致に取り組むとともに、外国人観光客の誘客対策を検討する。

（３）情報発信による地域イメージの向上

①メディアを通じた雲南地域情報の積極的な情報発信

雲南地域の魅力ある情報をマスコミ、インターネットなどあらゆるメディアを通じて積極的に情報発信していく。

②雲南一体となったフェア等積極的なＰＲ活動の継続

圏域１市２町が連携した観光パンフレットの作成や各種フェアの開催など、雲南一体となった積極的なＰＲ活動を継続して展開する。

Ⅲ．安心づくり [環境・基盤整備]

1．現状と課題

(1) 保健・医療

保健活動としては、各市町で健康相談、健康教育、健康診断等の事業に取り組んでいる。

また、圏域内には3つの公立病院をはじめ、公的診療機関、民間病院・医院、歯科医院があるが、地域医療の更なる充実を図るためには、医療施設・設備の整備や医療機関との広域的な連携等を推進していく必要がある。

(2) 介護保険

圏域では介護保険制度の創設に伴い広域連合を立ち上げ、雲南圏域による保険者の一本化を図り、介護保険の諸事務、認定審査の一元化等を行って、効率的な介護保険制度の運営に努めている。

全国的に少子高齢化が進む中、島根県は全国一の高齢県であり、なかでも雲南圏域1市2町は高齢化率が30%を超えている。さらには、団塊の世代が高齢期を迎えることから、高齢者人口、要介護認定者の大幅な増加が予想され、これまで以上に多様化したニーズへの対応が求められる。

今後、介護保険制度を安定した制度として維持していくため、高齢者ニーズに対応した介護サービスの提供、充実を図るとともに、構成市町と連携を一層強化し、地域支援事業の介護予防事業等を積極的に実施し、要介護認定者数の抑制、重度化の防止に努める必要がある。また、認知症高齢者への対応、地域の実情に応じた包括的な高齢者施策の展開、介護給付の適正化等が求められている。

(3) 福 祉

高齢者福祉の充実により、高齢者が安心して暮らせる環境が整備されつつある。今後は、高齢社会に対応し、介護予防等の保健・医療と連携した取組みに力を入れていく必要がある。

障害者福祉では、広域的な施設整備が進められているが、さらに、サービス体制の充実を図っていく必要がある。

また、母子・児童福祉においては、子育てに関するニーズの高まりから、各市町で多様な子育て支援策を展開している。

(4) 情報通信

圏域内全域でCATVが普及しており、このケーブル網を利用してテレビ放送をはじめ、音声告知放送、インターネットやIP電話といったサービスが提供されている。

また、高速・大容量の光ファイバー網を広域ネットワーク化することにより、地上デジタル放送への対応、CATVの制作番組の充実・効率化等を図っている。

今後は、住民の利便性向上、行政事務の効率化に向けて、電子自治体の推進が求められており、圏域住民の情報活用能力の向上が課題となっている。

(5) 交 通

圏域内の道路は、国道５４号、１８４号、３１４号、４３２号の４本の国道を骨格として、主要地方道・県道・広域農林道・市町道などの道路網がネットワーク化されている。

また、高速道路網としては、中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次インターチェンジまでの間が平成１５年３月に供用開始となり、残りの区間も新直轄方式により平成２０年代に開通を予定している。

過疎化や交通環境の変化する中で、公共交通機関の運営・存続は厳しい現状に立たされていることから、生活路線バスにおいては、高齢者や子どもといった交通弱者の生活の利便性を確保しつつ、運行の効率化を進めていく必要がある。また、今後、高速道開通後の高速バスについて、運行ルートの変更も予想されることから、沿線の交通対策について検討する必要がある。

(6) 生活関連施設

各市町においては、定住条件の重要な要素として上下水道の整備率向上に努めているほか、公営住宅の整備・改修、宅地開発等により、定住促進を図っている。

今後人口の社会増加を図るためには、団塊の世代をはじめとするＵ・Ｊ・Ｉターン者の受け入れを積極的に推進していく必要があり、これらを踏まえた定住施策の取組みが求められている。

(7) 地域防災体制

近年、全国的に自然災害による被害が頻発しており、これらに備えた行政と事業者との連携によるライフラインの確保をはじめ、総合的な防災対策を検討する必要がある。

特に、圏域には山林に囲まれた急傾斜地が多く、土砂災害等の防止対策や監視体制の強化等が望まれる。

圏域の防災体制は、雲南消防本部と３消防署からなる常備消防体制と各市町で組織された非常備消防で構成され、災害時において常備消防と非常備消防との連携を図っている。消防組織法改正を受け、今後、地理的条件や管轄面積、地域の実情を勘案し、島根県内の消防の広域化について検討が行われるが、適正な組織体制について議論が進むことが期待される。

(8) 自然環境の保全

循環型社会の形成をめざして、リサイクル促進のための分別回収の徹底について啓発活動等を進め、環境問題に対する圏域住民の理解と意識の高揚を図る必要がある。

一方、自治体や民間企業においては、国際標準化機構が定める環境マネジメントシステム規格「ＩＳＯ１４００１」の認証取得の気運が高まっており、効率的な省資源化、省エネルギーを促進していくことが求められている。

また、ごみ処理の体制や公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等の汚泥処理体制について、効率化を図るための広域的な取組みが望まれている。

2. 施策の基本的な方向

(1) 安らぎと安心のネットワークづくり

①健康づくり活動の充実

生活習慣病をはじめとした疾病予防と早期発見のための各種保健活動を実施し、健康づくり活動を充実する。

②医療機関の連携、医師等の確保による医療サービスの充実

圏域の医療機関の連携、医師等の確保により地域医療体制、医療サービスの充実を図る。

③介護予防対策、効果的・効率的な介護サービスの提供・充実

高齢者の介護予防と自立生活の支援を行うとともに、高齢者ニーズに対応した介護サービスの提供・充実を図る。

介護保険事業の円滑な推進を図るために、次の項目を重点的に取り組んでいく。

- 介護サービス基盤の整備と充実
- 要介護状態を予防する施策の推進
- 在宅生活を可能にする施策の推進
- 認知症要介護者へのサービスの充実
- サービスが円滑に提供できるための体制づくり

④広域的視点での各種福祉サービス体制の充実

児童福祉、障害者福祉において、多様なニーズに対応できるよう、広域的な視点から各種サービス体制の充実を図る。

(2) 雲南をつなぐ情報網の構築

①電子自治体の推進

住民サービスの向上、行政事務の効率化を図るため、電子自治体の取組みを推進する。

②CATVの効率的な運営、内容の充実

圏域内のCATVのネットワーク化、連携により、引き続き運営の効率化、放送内容の充実等を図る。

③地域の発信情報の充実

CATVやインターネット等により、地域情報等の受発信を促進し、地域内外への情報提供の充実を図る。

④情報活用能力の向上

住民が情報サービスを享受できるよう、情報活用能力の向上に努める。

⑤光ファイバー網の多角的利用方策

広域介護保険事務システム用光ファイバー網の多角的利用方策を検討する。

(3) 雲南を結ぶ利便性・安全性の高い交通基盤の整備

①関係市町との連携による幹線道路の整備促進

中国横断自動車道尾道松江線へのアクセス道路、市町を結ぶ道路、県境を越えて結ぶ道路など幹線道路の整備を関係市町と連携をとって促進する。

②既存バス路線の存続、広域的なバス運行等による住民利便性の確保

既存バス路線の存続を図るとともに、広域的なバス運行等の公共交通機関について、住民の利便性を確保するため、関係市町と連携をとって対応する。

③JR木次線の利用促進

JR木次線の利用促進、トロッコ列車の利活用及びそのPRに努める。

(4) 快適な生活関連施設の整備

①上下水道の整備率向上、公営住宅の整備促進

上下水道の整備率向上及び公営住宅の整備促進を図り、快適で住みよい生活環境づくりに努める。

(5) 地域防災体制の整備

①常備消防と非常備消防との連携強化

災害時における常備消防と非常備消防との連携をより一層図るとともに、非常備消防体制の維持、人員確保に努める。

②広域的な防災体制の確立、各市町と連携した雲南地域防災計画の策定

1市2町をはじめ、近隣市町と連携した広域的な防災体制を確立するとともに、各市町の防災計画と連携した、雲南地域防災計画の策定を検討する。

③治山・治水対策等の実施

治山・治水対策、急傾斜地崩壊防止対策の実施、監視体制の強化など、災害防止に向けた取組みに努める。

また、斐伊川神戸川治水対策として整備される尾原ダム・志津見ダムの早期完成を図る。

(6) 自然環境の保全

①環境保全対策の実施

圏域の美しい自然、豊かな環境と景観を守るため、自然環境の保全、公害防止、廃棄物対策の実施に努める。

②循環型社会の構築、新・省エネルギーの促進

廃棄物の減量化やリサイクルを行い循環型社会の構築に努めるとともに、新エネルギー、省エネルギーの促進等、積極的に環境対策に取り組む。

③効率的な下水汚泥処理の推進

公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽等の汚泥処理について、環境保全やコスト縮減等の観点から、効率的な下水汚泥処理に向けた取組みに努める。

IV. 人づくり [教育・文化の振興]

1. 現状と課題

(1) 学校教育

ゆとり教育の中で、自ら学び自ら考える「生きる力」の育成を目指しているが、圏域では、少子化による児童・生徒数の減少で、複式学級による授業や学校の統廃合化も一部で行われている。

また、近年、全国的に小学校の児童を狙った犯罪が多発し、圏域内でも不審者情報が寄せられるなど登下校時の子どもの安全が脅かされており、安心して学校に通えるよう対策が求められている。さらに、いじめ・不登校・虐待・自殺などの社会問題が増加しており、学校、地域社会、家庭における対応が必要である。

(2) 生涯学習

各市町において、公民館やコミュニティセンターを中心に各種講座や講演会、サークル活動など活発に生涯学習活動が実施されている。

今後は、各組織が広域的に連携し、活動・学習内容の充実を図っていく必要がある。

(3) 文化・芸術活動

圏域内には、古くから伝わる伝統行事や文化が多く残っているが、過疎・高齢化、後継者不足により、いかにしてこれらの伝統文化を保存・継承するかが課題となっている。

また、圏域内には多くの文化施設が整備されており、これらの文化施設を活用し、文化・芸術の鑑賞機会の拡大を図る必要がある。

(4) コミュニティ活動

各地域においては古くから集落内のつながりが強く、相互扶助の精神でコミュニティを維持してきたが、過疎化の進行により集落の人口が減少し、将来的にコミュニティの維持が困難な地域の発生が懸念される。

今後は、集落の再編等を視野に入れた、地域コミュニティの新たな仕組みづくりを検討していく必要がある。

(5) 研修・交流活動

住民ニーズの多様化、高度化、広域化等に伴い、行政職員の資質向上や地域を担う人材の育成が求められており、各種研修や啓発活動に積極的に取り組んでいく必要がある。

また、各市町において国際化の推進を図ってきているが、これらの事業の意義や目的を再確認し、地域住民、子どもたちの有意義な国際交流事業を継続していくことが望まれる。

2. 施策の基本的な方向

(1) 地域に根ざした学校教育の充実

①特色ある教育活動、学校教育の充実

郷土に対して愛着と理解を深め、人と自然を大切にする豊かな人間性を培うため、地域に根ざした特色ある教育活動、学校教育の充実に努める。

②児童・生徒の安全対策の充実

学校と地域が一体となり、登下校時を中心とした児童・生徒の安全対策を実施する。また、いじめ・不登校・虐待・自殺など子どもを取り巻く諸問題に対して、学校、地域社会、家庭が連携し、適切かつ迅速な対応に努める。

(2) 多様性に富んだ生涯学習活動の展開

①生涯学習内容の充実、施設整備

学習ニーズが多様化する中、住民の学習意欲・活動意欲に応えられるよう、各種講座の共同開催などの広域的な連携等により学習内容の充実に努めるとともに、生涯学習の施設整備を図り、生涯楽しく学べる環境づくりを推進する。

(3) 特色ある文化・芸術活動の推進

①地域文化の保存・伝承

映像や活字による記録、後継者の育成などを通して、伝統的な地域文化の保存・伝承に努める。

②新しい文化の創造・芸術活動の推進

芸術活動、スポーツ振興、地域資源の活用等を通して、新しい地域文化の創造に努めるとともに、優れた文化・芸術を鑑賞できる機会の拡大を図る。

③「雲南未来博物館」の活用

雲南地域の歴史や伝統文化等の資料をデジタル化して保存・整備した「雲南未来博物館」を、学校の授業や生涯学習の場で活用する。

(4) 心かようコミュニティ活動の推進

①コミュニティ組織の維持・活性化

地域住民の自主的な活動を支援し、コミュニティ組織の維持・活性化を図るとともに、必要に応じて集落の再編等を検討していく。

②人権尊重の社会づくりの推進

各種講演会や研修の開催等により人権教育を推進し、人権意識の高揚を図ることにより差別のない明るい社会づくりを進める。

③男女共同参画社会の推進

男性と女性がパートナーシップを保ち、女性が社会活動へ積極的に参加できるよう、意識啓発の機会の拡充、体制整備などを通して男女共同参画社会づくりを進める。

(5) 地域を担う人材の育成

①地域活動を担う人材の育成

地域づくりや地域活動を担う人材を育成するため、広域的な研修会（シンポジウム、地域づくりセミナー等）や講演会を開催するとともに、島根県中山間地域研究センターの活用等により、地域の活性化、地域づくりにつながる取組みを推進する。

②高度化、専門化、広域化に対応する行政職員研修の実施

地方分権の進展や高度化、専門化、さらには広域化する行政に対応できるよう行政職員の研修を行い、資質の向上を図る。

③国際化の推進

国際交流事業等を通して、語学習得意欲の醸成、異文化に対する理解や多文化の共生等の国際感覚を身に付けた人材の育成を図り、地域社会の国際化を推進する。

V．広域活動計画

雲南地域全体としての広域的な振興事業等を実施するため、平成14年3月、「雲南地区ふるさと市町村圏振興事業基金」を設立した。

その果実を活用し、基本計画に沿ったソフト事業の展開により、圏域のより一体的な振興・発展を図っていく。

1. 果実の活用が見込まれる事業

(1) ものづくり

- ①多面的な農林業の推進
- ②地場産業・商業の振興

(2) イメージづくり

- ①ふるさと資源を活用した雲南一体の広域観光振興
- ②広域連携事業
- ③情報発信による地域イメージの向上

(3) 安心づくり

- ①雲南をつなぐ情報網の構築
- ②雲南を結ぶ利便性・安全性の高い交通基盤の整備

(4) 人づくり

- ①特色ある文化・芸術活動の推進
- ②地域を担う人材の育成

第4章 計画の推進

I．計画の推進にあたっての民間と行政の役割分担

国においては、累積債務や高齢化に伴う財政負担の増加などにより、歳出削減に向けた財政運営を強いられており、地方もこの影響を受け、厳しい財政状況にある。地方分権の動きが本格化していく中で、国・地方財政の三位一体改革による補助金改革、地方交付税の削減、税源移譲の議論がすすめられており、今後の地方財政を左右する大きな課題となっている。

長引く景気低迷からの脱出の兆しが見えつつあるものの、少子高齢化と人口減少、地域格差の見られる地域経済の情勢など多くの問題を抱えている。ますます多様化・複雑化する行政需要に対応するため、地方自治体はより効率的で無駄のない行財政運営はもとより、地方分権化とその受け皿となる自治体基盤の強化が求められている。

地方分権化は、国からの権限移譲と同時に、地方自治体における自立した行財政運営が求められる。したがって、今後は限られた財源の中で事業実施の効果と優先順位を明確にし、より簡素で効率的な行政運営を行う必要がある。そのためには本来地方自治体が担うべき役割と民間が行うべき仕事を精査しながら、民間と自治体がお互いの役割を尊重し、責任を担い合いながら協力し地域経営に当たっていく必要がある。

本計画においても、広域行政の主体者として施策の方向性を示すとともに、自治体として取り組むべきことは積極的に行い、同時に民間の取り組みへの支援を図ることによって民間と行政の役割を明確にして進めていく。

II．住民の参加

行政運営を行う際、地域住民の理解と協力は不可欠である。したがって、自治体としても施策の目的、意図、内容等を地域住民に情報公開しながら、理解を求める努力を積極的に行っていく必要がある。

さらに、限られた財源でより効率的、効果的な事業展開を考えた場合、地域活動等への住民参加・協力は重要な要素となる。特に、「福祉」や「教育・文化」、「生活環境整備」等の分野において、住民の自主的な取り組みは、事業を推進していく上で大きな力となることから、積極的な支援を行うとともに、広く住民参加・協力を促していく必要がある。

このような行政と住民の協働による地域づくり、まちづくりを積極的に進めていくことがこれから一層重要となってくる。

III. 行財政の健全化

1. 広域行政の推進

(1) 広域連携の強化

本計画の着実な実施を図るためには、圏域の各市町の行財政基盤の強化が必要不可欠である。社会経済情勢が変化するなかで、多様化・複雑化した住民ニーズに対応し、行政サービスを将来にわたって安定的に提供するため、簡素で効率的な行財政運営を図り、さらに、圏域の1市2町との連携を強化し、一体的な振興、発展を図る必要がある。

(2) 一部事務組合等の複合化・統合化の推進

①現 状

圏域には、市町村合併に伴い、広域連合を含めて5つの広域行政組織となったが、今後さらに広域行政を推進し、簡素化、効率化を図るため、平成17年7月、雲南地域一部事務組合事務効率化調査検討幹事会を設置し、当面共同して事務処理を実施して合理化を図ることができる事項について、調査検討を行っている。

圏域内の一部事務組合等

一部事務組合等の名称	事務の内容	構成市町名
雲 南 広 域 連 合	地域振興 介護保険 広域的事務の調査研究	雲南市、奥出雲町、飯南町
公立雲南総合病院組合	病 院	雲南市、奥出雲町、飯南町
雲 南 消 防 組 合	消 防	雲南市、奥出雲町、飯南町
雲 南 環 境 衛 生 組 合	し尿処理	雲南市、奥出雲町、飯南町
雲南市・飯南町事務組合	C A T V ごみ処理 火 葬 場	雲南市、飯南町

②施策の基本的な方向

行政の簡素化、効率化を推進するため、一部事務組合等の複合化・統合化を推進する。

2. 財政の健全化

典型的な中山間地域である当圏域においては、過疎化、少子高齢化等により人口の減少が続いており、これに歯止めをかけるための産業振興、道路、下水道などの基盤整備、さらには各種の定住対策など人口定住に向けての様々な施策が求められている。

また、地方分権一括法、介護保険制度、行政改革の推進などといった行政課題に対し、その着実なる対応が求められており、さらなる行政事務の効率化、職員の資質向上に努め、行政運営の適正を期する必要がある。

このような状況のもと、広域行政をすすめる上で、今後も有利な補助事業や民間活力の導入等を図りながら、効率的な財政運営や財政基盤の強化に努めるとともに、ふるさと市町村圏基金の有効活用を図るなど、財政の健全化に努める必要がある。

IV．計画推進の組織体制

1．現 状

雲南地域は、雲南市、奥出雲町、飯南町の1市2町による自治体と一部事務組合による共同事務により行政事務が実施されているが、今後の地方分権の進展に伴い、地方自治体の役割の増大、少子高齢化をはじめとした諸課題に対応するために、今後ますます広域的な対応が要請され、広域行政の役割が重要となる。

雲南広域連合は、平成11年8月、介護保険事業を柱とし、広域的な地域振興事業、広域行政の調査研究等を実施することとして発足した。

広域連合の推進組織としては、各市町の企画担当部課長で構成する「広域連合企画推進会議」が設けられており、計画推進の実務者協議を行っている。この企画推進会議において検討協議した具体的な計画については、市町長で構成する「広域連合会議」で計画案が決定され、さらに「広域連合議会」の審議を経て決定し実施される。

2．施策の基本的な方向

雲南広域連合は、雲南地域の広域行政の中心的役割を担う機関であり、「雲南地区広域市町村圏」及び「雲南地区ふるさと市町村圏」の母体として、圏域の地域振興に関わる事業を推進していく。

今後も、広域行政等に関わる各種資料の収集や調査研究を行い、圏域における広域的な課題について取り組むとともに、ますます多様化、高度化する広域行政に対応するため、第二次広域計画に基づき事務事業を進めていく。

本計画の実施にあたっては、前述の「広域連合企画推進会議」、「広域連合会議」のほか、「市町担当部課長会議」、「市町担当国会議」を必要に応じ開催し、各市町との綿密な連携を図り推進する必要がある。

3．行政・住民・各種団体等との連携

各分野における関係機関・団体・民間事業者、住民組織等の積極的な協力を得て、行政・議会・住民等が密接な連携を図り、雲南地域が一丸となって本計画を推進していくものとする。

第5章 資料

Ⅰ．雲南地域の概況

1．位置と地勢

雲南地域は、島根県の東南部に位置し、雲南市、奥出雲町、飯南町の1市2町からなる区域で、東は鳥取県、南は広島県に接している。

また、南部は中国山地の分水嶺に接し、北部は出雲平野に続いているため、耕地の標高差は約700mに及んでいる。このため、年間平均気温は11.5℃（山間部）～14.0℃（平野部）と格差が大きく、年間降水量は1,800mm～2,100mm程度となっている。

総面積は1,164.27km²で、そのうちの82.6%を森林が占める典型的な中山間地域である。



2．沿革

ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川を抱えた本圏域は、『出雲国風土記』（733年）に現在の地名の由来を見ることができるほど古くから栄えていた地域であった。須佐之男命や大国主命の伝説が各地に残り、加茂岩倉遺跡に代表されるような数多くの遺跡や古墳が発掘されている。古くから農耕が盛んで、圏域一帯では炭焼きと山砂鉄によるタタラ製鉄などを主な産業としていた。

また、本圏域は山陰と山陽を結ぶルート上に位置していることから、陰陽の結節点としての役割を果たしてきた。そのため、戦国時代には数多くの山城が築かれ、大内、尼子、毛利氏など戦国大名の攻防の舞台ともなった。

このように、本圏域は歴史的にも多くの共通点を持ち、古代より産業や文化のつながりの強い地域である。

3．交通

雲南地域の鉄道は、JR山陰本線と宍道で接続するJR木次線が、雲南市、奥出雲町を経由して広島県の備後落合と結ばれている。

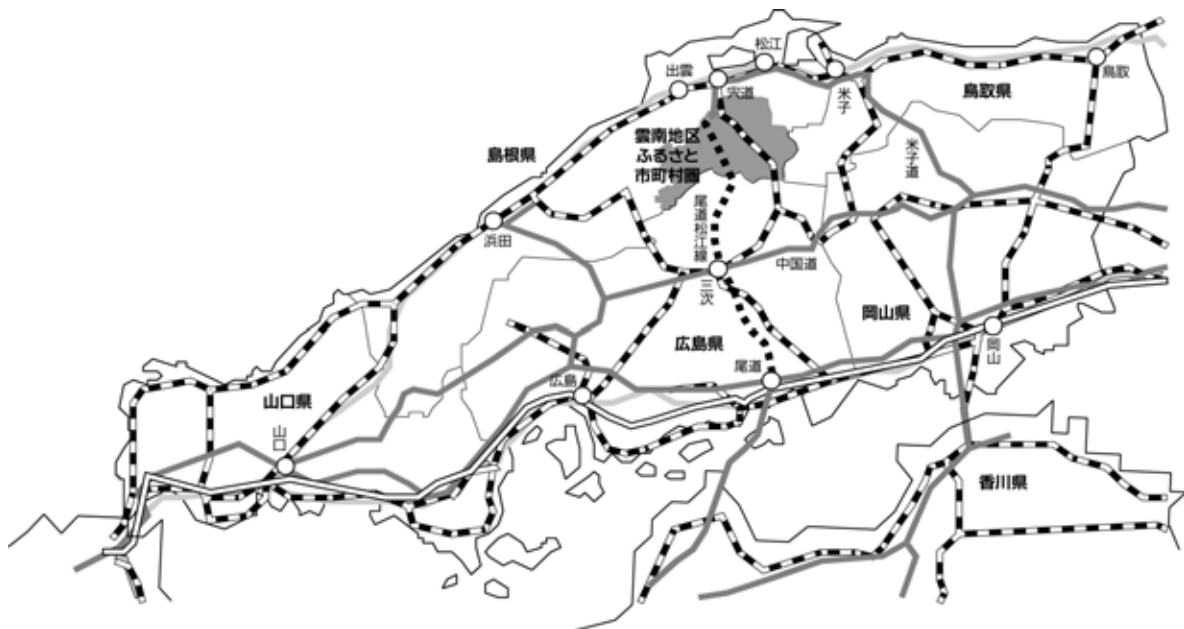
道路網については、山陰と山陽を結ぶ主要道路である国道54号が松江市宍道町で国道9号から分岐し、雲南市、飯南町を経由して、広島県三次市、広島市へとつながっている。また、この

国道54号の雲南市から国道314号が南東に伸び、奥出雲町を経て広島県庄原市と結ばれているほか、奥出雲町から広島県庄原市を結ぶ国道432号、出雲市と飯南町を結ぶ国道184号などが整備されている。

さらに、島根県東部と広島県を結ぶ中国横断自動車道尾道松江線が整備されつつある。松江市（松江玉造IC）～雲南市（三刀屋木次IC）間が平成15年3月に供用開始し、雲南市（三刀屋木次IC）～尾道市（尾道JCT）間は新直轄方式で平成20年代の全線開通に向けて整備が進められている。これが全線供用開始されれば、雲南地域の交通環境が大きく変化し、様々な影響を及ぼすと予想される。

そのほかの一般道路は、全体的に山や河川に阻まれ、特に東西方向の交通網の整備が遅れている。

雲南地域周辺交通網



II. 面積・人口

1. 面積

圏域を構成する市町の面積は右図のとおりである。圏域全体の総面積は1,164.27km²で、島根県の総面積の17.4%を占めている。

総面積		
市町名		面積
雲南市		553.37 km ²
奥出雲町		368.06 km ²
飯南町		242.84 km ²
雲南圏域	計	1,164.27 km ²
	県対比	17.4%
島根県		6,707.56 km ²

資料「全国都道府県市区町村別面積調」

(平成18年4月1日現在)

2. 人口・世帯数及び年齢構成

(1) 総人口・世帯数

圏域全体の総人口は66,194人（H17年国勢調査）で、島根県の総人口の8.9%を占めている。

総人口の推移は、昭和50年からの平成17年までの30年間で12,763人減少しており、減少率は16.2%となっている。これは島根県の減少率3.5%を大きく上回っている。

世帯数は19,930世帯（H17年国勢調査）で、島根県の総世帯数の7.6%を占めている。雲南圏域の1世帯当たりの人員は3.3人（同）で、島根県平均の2.8人を上回っている。

総人口と世帯数

市町名		総人口		世帯数	
		総数(人)	構成比	世帯数(世帯)	構成比
雲 南 市		44,403	67.1%	12,990	65.2%
奥出雲町		15,812	23.9%	4,874	24.4%
飯 南 町		5,979	9.0%	2,066	10.4%
雲南 圏域	計	66,194	100.0%	19,930	100.0%
	県対比	8.9%		7.6%	
島根県		742,223	100.0%	260,864	100.0%

資料：平成17年国勢調査 確定値

雲南地域総人口の推移

市町名		昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
雲南圏域	総人口	78,957	78,305	77,337	75,043	72,567	69,553	66,194
	県対比	10.3%	10.0%	9.7%	9.6%	9.4%	9.1%	8.9%
島根県		768,886	784,795	794,629	781,021	771,441	761,503	742,223

資料：国勢調査

(2) 年齢別人口

圏域の年少人口割合は12.8%で、県平均の13.6%を下回っている。平成12年の国勢調査時点では、圏域で16.1%、島根県14.7%で、県平均を上回っていたが、この5年間で大きく減少している。

老年人口割合は前回国勢調査では25.8%であったが、今回の国勢調査では32.7%と上昇し、ほぼ3人に1人が65歳以上となっている。

年齢3区分人口

市町名		年少人口 (0～14 歳)		生産年齢人口 (15～64 歳)		老年人口(65 歳以上)		計	
		総数 (人)	構成比	総数 (人)	構成比	総数 (人)	構成比	総数 (人)	構成比
雲 南 市		5,768	13.0%	24,687	55.6%	13,929	31.4%	44,384	100.0%
奥出雲町		2,037	12.9%	8,356	52.8%	5,419	34.3%	15,812	100.0%
飯 南 町		678	11.3%	3,020	50.5%	2,281	38.2%	5,979	100.0%
雲南 圏域	計	8,483	12.8%	36,063	54.5%	21,629	32.7%	66,175	100.0%
	県対比	8.4%		8.2%		10.8%		8.9%	
島根県		100,542	13.6%	439,471	59.3%	201,103	27.1%	741,116	100.0%

資料：平成17年国勢調査確定値 注）年齢不詳者があり、総人口と一致していない。

(3) 人口動態

自然動態では死亡数が出生数を上回る状態が続いており、人口の自然減少が進んでいる。また、社会動態も転出者が転入者を上回る社会減少の状態となっており、結果として大きく人口減少が進行している。

人口動態

(単位：人)

市町名	自然動態			社会動態		
	増減	出生数	死亡数	増減	転入数	転出数
雲南市	▲ 208	328	536	▲ 32	1,223	1,255
奥出雲町	▲ 95	108	203	▲ 39	474	513
飯南町	▲ 74	37	111	▲ 72	142	214
雲南 圏域	計	▲ 377	473	▲ 143	1,839	1,982
	県対比	14.3%	8.0%	6.7%	7.1%	7.1%
島根県	▲ 2,633	5,915	8,548	▲ 2,144	25,729	27,873

資料：島根県政策企画局統計調査課「島根の人口移動と推計人口」(H16年10月～H17年9月)

(4) 産業別就業者人口

圏域の産業別就業者人口の割合は、第1次産業が16.7%、第2次産業が34.7%、第3次産業が48.6%となっており、第1次産業、第2次産業の比率が県平均より高くなっている。

産業別就業者人口

市町名	第1次産業		第2次産業		第3次産業		総数	
	就業者数(人)	構成比	就業者数(人)	構成比	就業者数(人)	構成比	就業者数(人)	構成比
雲南市	3,660	14.7%	8,641	34.7%	12,592	50.6%	24,893	100.0%
奥出雲町	1,760	19.9%	3,274	37.1%	3,799	43.0%	8,833	100.0%
飯南町	805	23.3%	986	28.5%	1,667	48.2%	3,458	100.0%
圏域計	6,225	16.7%	12,901	34.7%	18,058	48.6%	37,184	100.0%
島根県	40,896	10.5%	112,631	29.0%	234,762	60.5%	388,289	100.0%

資料：平成12年国勢調査

III. 産業・経済

(1) 産業構造

「平成15年度しまねの市町村民経済計算」によると、圏域内の産業は製造業、不動産業、サービス業、建設業等を中心とした構造であると推察される。

平成15年度経済活動別市町別総生産(構成比)

単位: %

項 目			雲南市	奥出雲町	飯南町	圏域計	県 計
1 産 業			79.5	79.5	68.3	78.4	84.2
	農 林 水 産 業		2.6	5.8	6.5	3.8	2.2
		農 業	2.3	4.5	5.9	3.2	1.3
		林 業	0.3	1.2	0.6	0.6	0.1
		水 産 業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	鉱 業		0.5	1.9	0.2	0.8	0.3
	製 造 業		18.6	15.4	9.3	16.9	13.0
	建 設 業		11.4	13.3	14.5	12.2	9.2
	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業		1.7	1.3	2.2	1.7	5.8
	卸 売 ・ 小 売 業		8.6	6.6	5.8	7.9	10.8
	金 融 ・ 保 険 業		4.3	3.4	2.6	3.9	5.4
	不 動 産 業		14.2	14.5	14.2	14.2	12.1
	運 輸 ・ 通 信 業		3.5	4.2	3.5	3.7	4.8
	サ ー ビ ス 業		14.1	13.0	9.5	13.4	20.5
2 政 府 サ ー ビ ス 生 産 者			21.7	21.8	33.0	22.9	16.6
3 対 家 計 民 間 非 営 利 サ ー ビ ス 生 産 者			2.3	2.3	2.3	2.3	2.7
4 小 計 (1 + 2 + 3)			103.5	103.5	103.5	103.5	103.5
5 帰 属 利 子 等			-3.5	-3.5	-3.5	-3.5	-3.5
6 市 町 内 総 生 産 (1 + 2 + 3 + 5)			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	第 一 次 産 業		2.6	5.8	6.5	3.8	2.2
	第 二 次 産 業		30.5	30.6	24.0	29.8	22.5
	第 三 次 産 業		70.4	67.2	73.0	69.9	78.8

資料:「平成15年度しまねの市町村民経済計算」(島根県政策企画局統計調査課)

※産業/市場での利潤追求を目的として生産活動を行う主体。公的企業でも産業に類似している場合はこれを含む。

※政府サービス生産者/一般行政を担当する国の出先機関、県、市町村。また社会保障給付を目的とする組織や事業団を含む。

※対家計民間非営利サービス生産者/教育(私立学校、各種学校等)・医療(赤十字病院、済生会病院等)・その他(宗教団体、政党、労働組合等)

※帰属利子/金融業の受取利子・配当と支払利子の差額。帰属利子分を各産業に分割することが困難なため、一括して控除。

(2) 主要産業の状況

①農業

ア. 農家数

圏域内の総農家数は8,137戸で、これは県全体の18.3%に当たる。特に販売農家数では県全体の2割を占めており、圏域における販売農家数の割合も75.5%と県平均を上回り、農業のウエイトの高さを表わしている。

農家数

単位: 戸

市町名		総農家数		販売農家数		自給的農家数	
		戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比
雲 南 市		4,993	100.0%	3,452	69.1%	1,541	30.9%
奥 出 雲 町		2,241	100.0%	1,903	84.9%	338	15.1%
飯 南 町		903	100.0%	788	87.3%	115	12.7%
雲南 圏域	計	8,137	100.0%	6,143	75.5%	1,994	24.5%
	県対比	18.3%		20.9%		13.2%	
島 根 県		44,482	100.0%	29,349	66.0%	15,133	34.0%

資料:「島根県の農林業」(2005年農林業センサス結果報告書(概数値)平成17年2月1日調査)

イ．規模別農家数

販売農家を規模別に見ると、圏域全体では0.5ha～1.0ha が47.6%と約半数を占め、次いで0.5ha未満、1.0～1.5haの順となっている。これは県平均と同じ傾向を示している。

市町別に見ると、奥出雲町及び飯南町で1.5ha以上の大規模農家の割合が県平均より高くなっているのが特徴的である。

規模別農家数 (販売農家)

単位:戸

市町名		0.5ha 未満		0.5ha～1.0ha		1.0ha～1.5ha		1.5ha～2.0ha		2.0ha～3.0ha		3.0ha 以上		合計	
		戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比
雲 南 市		1,149	33.3%	1,742	50.5%	387	11.2%	101	2.9%	50	1.4%	23	0.7%	3,452	100.0%
奥出雲町		317	16.7%	841	44.2%	449	23.6%	175	9.2%	71	3.7%	50	2.6%	1,903	100.0%
飯 南 町		102	12.9%	342	43.5%	224	28.4%	57	7.2%	36	4.6%	27	3.4%	788	100.0%
雲南 圏域	計	1,568	25.5%	2,925	47.6%	1,060	17.3%	333	5.4%	157	2.6%	100	1.6%	6,143	100.0%
	県対比	18.3%		22.4%		22.9%		21.7%		18.3%		14.3%		20.9%	
島 根 県		8,548	29.1%	13,076	44.6%	4,631	15.8%	1,534	5.2%	860	2.9%	700	2.4%	29,349	100.0%

資料:「島根県の農林業」(2005年農林業センサス結果報告書(概数値)平成17年2月1日調査)

ウ．経営耕地面積

圏域の経営耕地面積は県全体の2割を占めており、そのうち田が84.4%を占めている。市町別に見ると、飯南町で田の割合が高く、雲南市と奥出雲町で畑の割合が県平均よりも高くなっている。

経営耕地面積

単位:ha

市町名		耕地面積 計		田		畑		樹園地	
		面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
雲 南 市		250,330	100.0%	208,450	83.2%	34,955	14.0%	6,925	2.8%
奥 出 雲 町		199,575	100.0%	165,425	82.9%	31,683	15.9%	2,467	1.2%
飯 南 町		90,393	100.0%	81,860	90.5%	8,028	8.9%	505	0.6%
雲南 圏域	計	540,298	100.0%	455,735	84.4%	74,666	13.8%	9,897	1.8%
	県対比	20.4%		20.5%		23.3%		9.0%	
島 根 県		2,652,530	100.0%	2,223,039	83.8%	320,072	12.1%	109,419	4.1%

資料:「島根県の農林業」(2005年農林業センサス結果報告書(概数値)平成17年2月1日調査)

エ．農業産出額

圏域の農業産出額は、総額で島根県の18.8%を占めている。種類別に見ると米と畜産が中心となっており、市町別では雲南市と飯南町で畜産の割合が比較的高いのに対し、奥出雲町では米の割合が高くなっている。

平成17年農業産出額 (農業粗生産額)

単位:千万円

市町名	農業産出額 計		耕種								畜産		
	生産額	構成比	生産額	構成比	米		野菜		果実		生産額	構成比	
					生産額	構成比	生産額	構成比	生産額	構成比			
雲 南 市	617	99.8%	358	58.0%	258	41.8%	61	9.9%	9	1.5%	258	41.8%	
奥 出 雲 町	356	100.0%	254	71.3%	205	57.6%	29	8.1%	3	0.8%	102	28.7%	
飯 南 町	243	100.0%	131	53.9%	105	43.2%	19	7.8%	2	0.8%	112	46.1%	
雲南 圏域	計	1,216	99.9%	743	61.1%	568	46.7%	109	9.0%	14	1.2%	472	38.8%
	県対比	18.8%			22.0%		11.0%		3.4%			23.5%	
島 根 県	6,484	99.8%	4,462	68.8%	2,587	39.9%	991	15.3%	407	6.3%	2,010	31.0%	

資料:農林水産省 農林水産統計「平成17年農業産出額(市町村別農業産出額)」

②林業

圏域内の森林面積は96,173haで、島根県全体の18.2%を占めている。このうち、人工林が43,537haと県全体の23.4%で、林業施策に積極的に取り組んできた状況が伺える。

森林面積

単位:ha

市町名		合 計	国有林	民有林	人 工 林	天 然 林	その他
雲 南 市		44,057	3,212	40,847	17,933	20,590	2,324
奥 出 雲 町		30,824	2,254	28,569	16,352	11,293	924
飯 南 町		21,291	868	20,423	9,250	10,723	450
雲南 圏域	計	96,173	6,333	89,840	43,537	42,606	3,697
	県対比	18.2%	18.8%	18.2%	23.4%	14.8%	17.9%
島 根 県		527,650	33,702	493,948	186,153	287,166	20,629

資料: 島根県農林水産部森林整備課「森林資源関係資料」(平成16年度末現在) ※圏域計は統計値を表示する。

③商業

商店数

単位:店

ア. 商店数

圏域内の卸・小売商店数は1,065店で、これは島根県全体の8.8%に当たる。

人口100人当たりの商店数は圏域平均で1.4店となっており、県平均を0.1ポイント上回っている。

市町名		卸・小売計	卸売業	小売業	
				商店数	人口100人 当たり商店数
雲 南 市		673	79	594	1.3
奥 出 雲 町		292	22	270	1.7
飯 南 町		100	6	94	1.6
雲南 圏域	計	1,065	107	958	1.4
	県対比	8.8%	5.0%	9.7%	
島 根 県		12,087	2,160	9,927	1.3

資料: 「平成16年商業統計調査」

イ. 従業者数

卸・小売業の従業者数は圏域全体で4,362人となっており、これは県全体の6.8%に当たる。

小売業における1店当たりの従業者数は、圏域平均で3.8人と県平均の4.8人を下回っていることから、圏域の小売業は小規模店舗が中心であると考えられる。

従業者数

単位:人

市町名		卸・小売計	卸売業	小売業	
				従業者数	1店当たり 従業者数
雲 南 市		2,957	580	2,377	4.0
奥 出 雲 町		1,050	96	954	3.5
飯 南 町		355	15	340	3.6
雲南 圏域	計	4,362	691	3,671	3.8
	県対比	6.8%	4.1%	7.7%	
島 根 県		64,344	16,669	47,675	4.8

資料: 「平成16年商業統計調査」

年間商品販売額

単位:百万円

ウ. 商品販売額

年間商品販売額は、圏域全体で85,294百万円となっている。これは県全体の5.2%で、1店当たりの年間商品販売額は60.4百万円と県平均を下回っている。

市町名		卸・小売計	卸売業	小売業	
				販売額	1店当たり 販売額
雲 南 市		64,211	24,853	39,358	66.3
奥 出 雲 町		15,531	2,330	13,201	48.9
飯 南 町		5,552	284	5,268	56.0
雲南 圏域	計	85,294	27,467	57,827	60.4
	県対比	5.2%	3.2%	7.3%	
島 根 県		1,642,950	854,195	788,755	79.5

資料: 「平成16年商業統計調査」

④工業

ア．事業所数

圏域全体で１９９の事業所があり、島根県全体の１２．１％を占めている。

イ．従業者数

１事業所当たりの従業者数は雲南圏域平均２５．８人で県平均を下回っているが、雲南市は大規模な工業団地を有していることから、２８．５人と県平均を上回っている。

ウ．製造品出荷額

製造品出荷額の圏域合計は９，４１７，１３３万円で、これは県全体の９．１％に相当する。

１事業所当たりの製造品出荷額は圏域平均で４７，３２２万円となっており、県平均を下回っている。

事業所数・従業者数・製造品出荷額等

市町名		事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	１事業所当たり 従業者数	製造品出荷額等 (万円)	１事業所当たり 製造品出荷額等 (万円)
雲 南 市		124	3,540	28.5	7,132,880	57,523
奥 出 雲 町		59	1,311	22.2	1,597,573	27,078
飯 南 町		16	279	17.4	686,680	42,918
雲南 圏域	計	199	5,130	25.8	9,417,133	47,322
	県対比	12.1%	11.8%		9.1%	
島 根 県		1,647	43,558	26.4	104,009,621	63,151

資料：「平成16年工業統計調査」

②道路整備状況

圏域内の道路整備の状況は以下のとおりである。改良率、舗装率の圏域の平均値は、一般国道、県道ともほぼ県と同等のレベルに達している。

また、市町村道の改良率は圏域平均で56.9%と県平均を上回っているが、舗装率は下回っている。

項目		単位	雲 南 市	奥出雲町	飯南町	圏域計	島根県
一般国道	実延長	m	56,745	56,325	46,865	159,935	895,722
	改良率	%	100%	100%	85.0%	95.6%	95.3%
	舗装率	%	100%	100%	100%	100%	100%
県道	実延長	m	245,104	113,343	37,437	395,884	2,485,293
	改良率	%	65.5%	62.4%	86.7%	66.6%	66.4%
	舗装率	%	98.5%	97.2%	100.0%	98.3%	98.5%
市町村道	実延長	m	1,140,769	499,183	284,188	1,924,140	14,357,188
	改良率	%	54.6%	57.9%	64.4%	56.9%	49.3%
	舗装率	%	76.2%	62.4%	78.6%	73.0%	75.0%

資料：島根県土木部道路維持課「道路等の現況調査」(H17年4月1日現在)

(2) 交通機関

①バス運行の状況

ア．路線バスの状況

各市町における路線バスの運行状況は、以下のとおりである。

市町名	路線数 系統数	運行回数	運行エリア	運行主体 (受託事業者)	備考
雲 南 市	5 路線	平日 3～6 回 奇数土 2 回	雲南市(大東町)	大新東(株) 松江営業所	
	1 路線	平日 5 回 奇数土 2 回	雲南市(大東町)	ヤマカド自動車	
	2 路線	平日 7 回 土・祝日 7 回	雲南市(加茂町)	大新東(株) 松江営業所	
	8 路線	平日 1～6 回 土日祝日 6 回	雲南市(木次町)	木次都市開発(株)	
	2 路線	平日・土 4～5 回	雲南市(三刀屋町)	三葉タクシー(有)	
	1 路線	平日・土 4 回	雲南市(三刀屋町)	(有) みことくん	
	1 路線	平日 7 回 土日祝日 2 回	雲南市内	(株) 吉田ふるさと村	
	3 路線	平日・土 3 回	雲南市(吉田町)	(株) 吉田ふるさと村	
	2 路線	平日 6 回	雲南市(掛合町)	掛合タクシー	
	1 路線	平日 4 回 土日祝日 2 回	雲南市(三刀屋町)～出雲市	(有) 谷本ハイヤー	広域運行
	1 路線	平日 4 回 土日祝日 3 回	雲南市(三刀屋町)～出雲市	(有) スサノオ観光	広域運行
	1 路線	平日 8 回 土日祝日 7 回	雲南市(大東町)～松江市	一畑バス(株)	広域運行
奥出雲町	11 路線	平日 30.5 回 土日祝日 22.5 回	奥出雲町内	奥出雲交通(株)	
	1 路線	平日・土日祝日 2 回	奥出雲町～広島県庄原市高野町	奥出雲交通(株)	広域運行
	1 路線	平日 2.5 回 土日祝日 2 回	奥出雲町～鳥取県日南町	奥出雲交通(株)	広域運行
	1 路線	平日 9 回 土日祝日 6 回	奥出雲町～安来市広瀬町	奥出雲交通(株)	広域運行
飯 南 町	1 系統	平日・土 2 回	飯南町内	(有) 赤来交通 とんぼら総合開発(株)	
	8 系統	平日(月～木) 8.5 回	飯南町内	(有) 赤来交通	
	1 系統	平日・土 1 回	飯南町内	とんぼら総合開発(株)	
	1 系統	平日・土 1 回	飯南町頓原～出雲市佐田町	とんぼら総合開発(株)	広域運行
	1 系統	平日 4 回 土日祝日 3 回	飯南町赤名～大田市	石見交通(株)	広域運行
	1 系統	平日 4 回 土日祝日 2 回	飯南町赤名～三次市	備北交通(株)	広域運行

(H18 年4月1日現在) ※ 高速バスを除く。

イ. 市・町営バス

各市町で運営しているバスの状況は、以下のとおりである。

市町名	路線数	車両台数	料 金
雲 南 市	27 路線	市民バス 22 台 だんだんタクシー 2 台 広域運行 3 台	市民バス等 / 大人 200 円～600 円 小人等 100 円～300 円 広域運行路線 / 大人 150 円～730 円 小人等 80 円～370 円
奥 出 雲 町	11 路線	15 台	大人 200 円 小人 100 円
飯 南 町	8 路線	5 台	町内運行路線 / 大人 200 円、高校生 100 円、中学生以下無料 広域運行路線 (飯南町頓原～出雲市佐田町) / 大人 400 円、 高校生 400 円、中学生以下 200 円

(H18 年 4 月 1 日現在) ※ 民間運行路線を除く。

②鉄道の状況

圏域内には J R 木次線が走っており、15 の駅を有している。1 日平均乗車人員は年々減少傾向にあり、トロッコ列車の運行等を行い、観光客を中心に利用促進を図っている。

路線名	区 間	営業キロ	駅数
JR 木次線	宍道駅～広島県境	69.7	15

駅 名	営業キロ 駅間キロ程	1日平均乗車人員(人/日)				
		平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
南 宍 道	3.6	9	8	9	10	9
加 茂 中	5.1	162	157	124	99	88
幡 屋	3.1	55	49	36	34	32
出 雲 大 東	2.1	297	252	221	222	199
南 大 東	3.6	14	16	19	17	13
木 次	3.6	275	227	201	188	191
日 登	3.7	22	18	9	6	5
下 久 野	6.7	7	7	7	9	10
出 雲 八 代	5.9	55	63	54	50	36
出 雲 三 成	4.1	162	166	165	176	160
亀 嵩	4.4	54	49	50	44	41
出 雲 横 田	6.4	245	249	241	236	200
八 川	4.0	2	2	2	1	1
出 雲 坂 根	7.0	3	3	3	3	2
三 井 野 原	6.4	4	3	4	3	3
計	69.7	1,366	1,269	1,145	1,098	990

トロッコ列車年度別利用状況

項 目	平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
利用 者 数	17,456	19,349	13,180	12,262	14,728	17,534	18,253	19,770
累 計	17,456	36,805	49,985	62,247	76,975	94,509	112,762	132,532

資料：J R 西日本 木次鉄道部

V. 公共施設

(1) 生活関連施設

①公営住宅

圏域内には 8 2 1 戸の市町営住宅と 7 8 3 戸の公営住宅があり、合わせて 1, 6 0 4 戸を供給している。

公営住宅の状況 (単位: 戸)

市町名	市町営住宅	その他の公営住宅	計
雲 南 市	592	348	940
奥 出 雲 町	120	385	505
飯 南 町	109	50	159
圏域計	821	783	1,604

資料：雲南広域連合調査 (平成 18 年 4 月 1 日現在)

②上下水道

ア. 上水道整備状況

上水道の普及率は圏域平均で91.0%となっており、県平均の95.8%を下回っている。

上水道整備状況(簡易水道等を含む)		
市町名	給水人口(人)	普及率(%)
雲南市	40,997	91.3%
奥出雲町	15,042	94.8%
飯南町	4,861	79.0%
圏域計	60,900	91.0%
島根県	713,081	95.8%

資料:「しまねの水道」(平成16年度) 島根県薬事衛生課

イ. 下水道整備状況

下水道については、公共下水道、農業集落排水施設等の集合処理施設の普及率は県と同等のレベルであり、合併処理浄化槽等の個別処理施設の普及率は県平均を上回っている。全体の普及率は69.8%で、県平均の60.8%を上回っている。

下水道整備状況

市町名	集合処理施設 (公共下水道・農業集落排水等)		個別処理施設(合併処理浄化槽等)		処理人口計(人)	普及率(%)
	処理人口(人)	普及率(%)	処理人口(人)	普及率(%)		
雲南市	23,044	50.6%	9,413	20.6%	32,457	71.2%
奥出雲町	7,579	47.0%	3,165	19.6%	10,744	66.7%
飯南町	2,904	47.6%	1,180	19.4%	4,084	67.0%
圏域計	33,527	49.5%	13,758	20.3%	47,285	69.8%
島根県	369,651	49.6%	82,763	11.1%	452,414	60.8%

資料:島根県土木部下水道推進課「平成17年度末汚水処理人口普及状況」をもとに区分集計して算出する。

③ごみ・し尿処理・火葬場施設

ア. ごみ処理施設

合併後の圏域内のごみ処理は、雲南市・飯南町事務組合、奥出雲町によって運営されている。詳細は以下のとおりである。

【雲南市・飯南町事務組合】

●雲南エネルギーセンター(旧加茂町外三町清掃組合)

(可燃ごみ)

供用開始:平成11年4月供用開始(平成9～10年度建設)

施設概要:固形燃料化方式

処理能力:30t/日(8時間稼動)

処理区域:雲南市(大東町・加茂町・木次町・三刀屋町)

利用実績:平成17年度処理量 7,586t

●リサイクルプラザ(旧加茂町外三町清掃組合)

(不燃ごみ)

供用開始:平成16年4月供用開始(平成9～10年度建設)

施設概要:破碎・圧縮方式

処理能力:12.5t/日

処理区域:雲南市(大東町・加茂町・木次町・三刀屋町)

利用実績:平成17年度処理量 1,175t

●いいしクリーンセンター（旧飯石郡町村事務組合・旧赤来町頓原町環境衛生組合）

（可燃ごみ）

供用開始：平成14年12月供用開始

施設概要：ベーリング方式中継施設

焼却能力：15t/日

処理区域：雲南市（吉田町・掛合町）、飯南町

利用実績：平成17年度処理量 2,440t

（不燃ごみ）

供用開始：平成15年10月供用開始

施設概要：破碎・圧縮方式

処理能力：2.4t/日

処理区域：雲南市（吉田町・掛合町）、飯南町

利用実績：平成17年度処理量 788t

【奥出雲町】

●仁多可燃物処理センター（旧仁多町・横田町広域事務組合）

（可燃ごみ）

供用開始：昭和55年供用開始

施設概要：機械バッチ方式焼却炉

焼却能力：10t/8h×2基

処理区域：奥出雲町

利用実績：平成17年度処理量 3,502t

●仁多クリーンセンター（旧仁多町・横田町広域事務組合）

（不燃ごみ）

供用開始：平成11年供用開始

処理能力：31,360m³

処理区域：奥出雲町

利用実績：平成17年度処理量 1,347t

イ．し尿処理施設

圏域のし尿処理については雲南環境衛生組合によって一体的に行われている。公共下水道等の普及により、し尿搬入量は年々減少しているが、農業集落排水施設や合併処理浄化槽の普及に伴う汚泥の搬入量は増加傾向にある。

雲南環境衛生組合は雲南地域1市2町で構成されるが、平成16年11月1日以降、松江市六道町については事務委託により当施設で処理している。処理施設の詳細は、以下のとおりである。

【雲南環境衛生組合】

施設建設年度：昭和63年度～平成2年度

処理能力：90kℓ/日

処理方式：標準脱窒素処理法＋高度処理

利用実績：平成17年度処理量 生し尿/18,875kℓ 浄化槽汚泥/17,721kℓ

市町別処理人口

市町名	総人口 (人)	処理対象人口(人)					利用率 (%)
		下水道	農集	浄化槽	汲取	自家処理	
雲 南 市	45,836	8,519	9,535	11,053	16,419	310	80.7%
奥 出 雲 町	16,214	1,559	2,858	3,509	6,609	1,679	80.0%
飯 南 町	6,118	1,114	201	1,229	3,417	157	79.2%
雲 南 圏 域 計	68,168	11,192	12,594	15,791	26,445	2,146	80.4%
松 江 市	9,590	5,200	2,086	557	1,708	39	45.4%
計	77,758	16,392	14,680	16,348	28,153	2,185	76.1%

資料：雲南環境衛生組合（平成18年3月末）

(1) 浄化槽人口は、単独浄化槽人口、合併浄化槽人口の合計値である。

(2) 利用率は、総人口に対し、し尿処理施設を利用する対象人口（汲取人口、浄化槽人口、農業集落排水施設人口）の割合を示す。

ウ．火葬場施設

圏域の火葬場としては、雲南市・飯南町事務組合、奥出雲町、飯南町において運営されている。これらの詳細は、以下のとおりである。

【雲南市・飯南町事務組合】

●三刀屋斎場（旧三刀屋町外7町村火葬場組合）

供用開始：平成8年7月供用開始（平成7～8年度改築）

施設概要：火葬炉 3基

利用区域：雲南市（大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田町・掛合町）
飯南町、松江市宍道町

利用件数：平成17年度 677件

【奥出雲町】

●仁多斎場（旧仁多町・横田町広域事務組合）

供用開始：平成9年11月供用開始（平成8～9年度建設）

施設概要：火葬炉 2基

利用区域：奥出雲町

利用件数：平成17年度 204件

【飯南町】

●飯南町火葬場（旧赤来町火葬場）

供用開始：平成2年12月供用開始

施設概要：火葬炉 1基

利用区域：飯南町

利用件数：平成17年度 52件

（2）医療・福祉施設

①医療施設

圏域の医療施設としては公立病院が3施設、公立診療所が5施設、民間病院が2施設、民間の医院が38施設、歯科医院が21施設、そのほか薬局が10店ある。

圏域内の医療施設

市町名	公立病院	民間病院	公立診療所	民間医院	歯科医院	計	薬局
雲 南 市	1	2	2	26	15	46	8
奥 出 雲 町	1	0	0	11	4	16	2
飯 南 町	1	0	3	1	2	7	0
圏域計	3	2	5	38	21	69	10

(平成18年4月1日現在)

ア．公立病院等

市町名	病院名	種別	市町名	病院名	種別
雲 南 市	公 立 雲 南 総 合 病 院	公 立 病 院	飯 南 町	飯 南 町 立 飯 南 病 院	公 立 病 院
	雲 南 市 国 民 健 康 保 険 掛 合 診 療 所	公 立 診 療 所		飯 南 町 立 来 島 診 療 所	公 立 診 療 所
	雲 南 市 国 民 健 康 保 険 波 多 出 張 診 療 所	〃		飯 南 町 立 志 々 出 張 診 療 所	〃
奥 出 雲 町	町 立 奥 出 雲 病 院	公 立 病 院		飯 南 町 立 谷 出 張 診 療 所	〃

イ．民間医療機関

市町名	病院名	種別	市町名	病院名	種別
雲 南 市	吉 岡 医 院	民間医院	雲 南 市	吉 岡 医 院	民間医院
	横 山 内 科 医 院	〃		和 田 医 院	〃
	原 医 院	〃		平 成 記 念 病 院	民間病院
	医 療 法 人 晴 木 医 院	〃		狩 野 医 院	民間医院
	横山医院下久野診療所	〃		医 療 法 人 社 団 田 部 医 院	〃
	野々村歯科医院	歯科医院		よ こ お 小 児 科	〃
	磯 遊 歯 科 医 院	〃		陶 山 診 療 所	〃
	磯遊歯科医院大東分院	〃		だ い さ 歯 科 医 院	歯科医院
	ホ ワ イ ト 歯 科 医 院	〃		医 療 法 人 社 団 上 代 歯 科	〃
	ド レ ミ 歯 科 医 院	〃		医 療 法 人 社 団 足 立 歯 科	〃
	株 式 会 社 筒 井 薬 局	薬 局		三 刀 屋 中 央 薬 局	薬 局
	有 限 会 社 さ く ら 薬 局	〃		田 井 診 療 所	民間診療所
	有 限 会 社 大 東 駅 前 薬 局	〃		渡 部 診 療 所	〃
	エ イ ト 薬 局	〃		医療法人有愛会落合歯科医院吉田分院	歯科医院
	医 療 法 人 清 水 医 院	民間医院		清 水 医 院	民間医院
	永 瀬 医 院	〃		医療法人有愛会落合歯科医院	歯科医院
	本 永 瀬 医 院	〃	奥 出 雲 町	岩 田 医 院	民間医院
	医療法人緑国会山本歯科医院	歯科医院		医 療 法 人 千 原 医 院	〃
	青 木 歯 科 医 院	〃		医 療 法 人 千 原 医 院 分 院	〃
	ト リ ム 薬 局	薬 局		加 藤 医 院	〃
	山 根 医 院	民間医院		医 療 法 人 岩 田 クリニック	〃
	木 村 医 院	〃		太 田 歯 科 クリニック	歯科医院
	三 代 医 院	〃		永 生 クリニック	民間医院
	雲南なごみクリニック	〃		高 橋 医 院	〃
	辰 村 医 院	〃		杉 原 医 院	〃
	西 村 医 院	〃		石 原 医 院	〃
	長 見 クリニック	〃		石 原 医 院 分 院	〃
	川 本 医 院	〃		井 上 医 院	〃
	横 山 医 院	〃		米 山 歯 科 医 院	歯科医院
	医療法人コスモ会奥出雲コスモ病院	民間病院		医療法人慈弘会高松歯科医院	〃
	秦 野 歯 科 医 院	歯科医院		い し は ら 歯 科	〃
	医療法人円明会井上歯科医院	〃	飯 南 町	有 限 会 社 小 林 薬 局	薬 局
	菅 原 歯 科 医 院	〃		み な り 薬 局	〃
	ヒ ノ ヤ 薬 局	薬 局		和 田 医 院	民間医院
	有 限 会 社 フ ジ ハ ラ 薬 局	〃		ふ く ま 歯 科 医 院	歯科医院
				栃 木 歯 科 医 院	〃

②福祉施設

圏域内にある福祉施設は、それぞれ以下のとおりである。

ア．居宅介護サービス（平成18年9月1日現在）

訪問介護

市町名	事業者名	事業所名
雲 南 市	公 立 雲 南 総 合 病 院 組 合	指 定 訪 問 介 護 事 業 所 う ん な ん
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	訪 問 介 護 事 業 所 お お ぎ
	社 会 福 祉 法 人 島 根 県 社 会 福 祉 事 業 団	簸 の 上 園 ヘル パース テーション
	株 式 会 社 ニ チ イ 学 館	アイリス ケア センター あか が わ
	社 会 福 祉 法 人 か も 福 祉 会	ヘル パース テーション か も
	雲 南 農 業 協 同 組 合	J A 雲 南 す ず ら ん 福 祉 センター
	医 療 法 人 同 仁 会	き す き ヘル パース テーション
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	訪 問 介 護 事 業 所 み と や
	株 式 会 社 コ ム ス ン	株 式 会 社 コ ム ス ン 雲 南 ケア センター
奥 出 雲 町	社 会 福 祉 法 人 よ し だ 福 祉 会	社 会 福 祉 法 人 よ し だ 福 祉 会 ケア ポート よ し だ
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	訪 問 介 護 事 業 所 か け や
飯 南 町	社 会 福 祉 法 人 仁 多 福 祉 会	仁 多 ヘル パース テーション
	社 会 福 祉 法 人 よ こ た 福 祉 会	よ こ た 福 祉 会 訪 問 介 護 事 業 所
	社 会 福 祉 法 人 飯 南 町 社 会 福 祉 協 議 会	飯 南 町 社 会 福 祉 協 議 会 訪 問 介 護 事 業 所

訪問入浴介護

市町名	事業者名	事業所名
雲 南 市	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	訪 問 入 浴 介 護 事 業 所 お お ぎ
	雲 南 農 業 協 同 組 合	J A 雲 南 す ず ら ん 福 祉 センター
	有 限 会 社 ホ ー ム ケ ア ー 島 根	ホ ー ム ケ ア ー 島 根 雲 南 営 業 所
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	好 老 センター 訪 問 入 浴 介 護 事 業 所
奥 出 雲 町	社 会 福 祉 法 人 よ こ た 福 祉 会	よ こ た 福 祉 会 訪 問 入 浴 介 護 事 業 所

訪問看護

市町名	事業者名	事業所名
雲 南 市	公 立 雲 南 総 合 病 院 組 合	訪 問 看 護 ス テーション う ん な ん
	医 療 法 人 同 仁 会	老 人 訪 問 看 護 ス テーション 友 喜 き す き 出 張 所
	医 療 法 人 陶 朋 会	訪 問 看 護 ス テーション ヘ い せ い
	(公 立 雲 南 総 合 病 院 組 合)	(訪 問 看 護 ス テーション う ん な ん 吉 田 支 所)
奥 出 雲 町	奥 出 雲 町	奥 出 雲 訪 問 看 護 ス テーション に た
	社 会 福 祉 法 人 よ こ た 福 祉 会	訪 問 看 護 ス テーション ま ご こ ろ
飯 南 町	飯 南 町	飯 南 町 訪 問 看 護 ス テーション

訪問リハビリテーション

市町名	事業者名	事業所名
奥 出 雲 町	奥 出 雲 町	町 立 奥 出 雲 病 院

通所介護

市町名	事業者名	事業所名
雲 南 市	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	通 所 介 護 事 業 所 お お ぎ
	社 会 福 祉 法 人 あ お そ ら 福 祉 会	老 人 デイ サービス センター あ お そ ら の 家
	特 定 非 営 利 活 動 法 人 ほ っ と 大 東	デ イ サービス ほ っ と
	〃	デ イ サービス 北 の 宿
	株 式 会 社 ニ チ イ 学 館	アイリス ケア センター あか が わ
	社 会 福 祉 法 人 か も 福 祉 会	加 茂 デイ サービス センター
	〃	デ イ サービス センター 愛 あ い の 家
	社 会 福 祉 法 人 き す き 福 祉 会	木 次 町 デイ サービス センター
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	デ イ サービス センター み と や
	〃	デ イ サービス センター 陽 だ ま り の 家
	有 限 会 社 ア ミ ー ゴ 島 根	デ イ サービス だ ん だ ん
	社 会 福 祉 法 人 よ し だ 福 祉 会	社 会 福 祉 法 人 よ し だ 福 祉 会 ケア ポート よ し だ
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	好 老 センター 通 所 介 護 事 業 所
	〃	ふ れ あ い センター 通 所 介 護 事 業 所

市町名	事業者名	事業所名
奥出雲町	社会福祉法人仁多福祉会	仁多デイサービスセンター
	社会福祉法人よこた福祉会	よこた福祉会通所介護事業所A
	社会福祉法人よこた福祉会	よこた福祉会通所介護事業所B
	有限会社クオリティライフ	デイサービスよこたの郷
飯南町	有限会社ブルーム	デイサービス奥出雲
	社会福祉法人友愛会	頼原デイサービスセンター
	社会福祉法人飯南町社会福祉協議会	飯南町社会福祉協議会通所介護事業所
	有限会社八神生活センター	八神デイサービスセンター
	森島建設株式会社	デイサービスセンターまごのて

認知症対応型通所介護 (地域密着型サービス)

市町名	事業者名	事業所名
雲南市	社会福祉法人あおぞら福祉会	老人デイサービスセンターあおぞらの家
	社会福祉法人かも福祉会	デイサービスセンター愛あいの家
	社会福祉法人雲南市社会福祉協議会	デイサービスセンター陽だまりの家
奥出雲町	有限会社ブルーム	デイサービス奥出雲

通所リハビリテーション

市町名	事業者名	事業所名
雲南市	医療法人同仁会	ケアセンターきすき
	医療法人陶朋会	平成成苑
奥出雲町	奥出雲町	奥出雲介護老人保健施設

短期入所生活介護

市町名	事業者名	事業所名
雲南市	社会福祉法人島根県社会福祉事業団	特別養護老人ホーム簸の上園
	社会福祉法人かも福祉会	短期入所生活介護笑寿苑
	社会福祉法人きすき福祉会	短期入所施設特別養護老人ホームさくら苑
	社会福祉法人有隣会	社会福祉法人有隣会梅里苑短期入所生活介護事業所
	社会福祉法人よしだ福祉会	社会福祉法人よしだ福祉会ケアポートよしだ
	社会福祉法人雲南市社会福祉協議会	えがおの里短期入所生活介護事業所
奥出雲町	奥出雲町	特別養護老人ホームあいサンホーム
	社会福祉法人よこた福祉会	よこた福祉会短期入所生活介護事業所
飯南町	社会福祉法人友愛会	短期入所生活介護事業所愛寿園
	社会福祉法人飯南町社会福祉協議会	飯南町社会福祉協議会短期入所生活介護事業所

短期入所療養介護

市町名	事業者名	事業所名
雲南市	公立雲南総合病院組合	公立雲南総合病院
	医療法人同仁会	老人保健施設ケアセンターきすき
	医療法人陶朋会	平成記念病院
	医療法人陶朋会	老人保健施設平成苑
	個人	陶山診療所
奥出雲町	奥出雲町	町立奥出雲病院
	〃	奥出雲介護老人保健施設

認知症対応型共同生活介護 (地域密着型サービス)

市町名	事業者名	事業所名	定員
雲南市	社会福祉法人あおぞら福祉会	老人グループホームとぎしの家	9
	雲南福祉サービス株式会社	グループホーム加茂の郷	18
	有限会社アミーゴ島根	グループホーム雲南・ゆりさわ	9
奥出雲町	有限会社クオリティライフ	グループホームよこたの郷	9
飯南町	特定非営利活動法人あかぎ福祉会	あかぎファミリーケアセンターまんてんの家	8

福祉用具貸与・販売

市町名	事業者名	事業所名
雲南市	有限会社マルタカメディカルサービス	有限会社マルタカメディカルサービス
	有限会社ともみ工房	有限会社ともみ工房
	雲南農業協同組合	J A 雲南すずらん福祉センター
	有限会社あいねっときすき	有限会社あいねっときすき
	有限会社ホームケアー島根	ホームケアー島根雲南営業所
奥出雲町	有限会社三澤工業	ライフサポートこまわりsun

居宅介護支援

市町名	事業者名	事業所名
雲 南 市	公 立 雲 南 総 合 病 院 組 合	指 定 居 宅 介 護 支 援 事 業 所 う ん な ん
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	居 宅 介 護 支 援 事 業 所 お お ぎ
	社 会 福 祉 法 人 島 根 県 社 会 福 祉 事 業 団	簸 の 上 園 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	特 定 非 営 利 活 動 法 人 ほ っ と 大 東	ケ ア プ ラ ン ほ っ と
	株 式 会 社 ニ チ イ 学 館	アイリスケアセンターあかがわ
	社 会 福 祉 法 人 か も 福 祉 会	か も 福 祉 会 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	社 会 福 祉 法 人 き す き 福 祉 会	社 会 福 祉 法 人 き す き 福 祉 会 木 次 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	雲 南 農 業 協 同 組 合	J A 雲 南 す ず ら ん 福 祉 セ ン タ ー
	医 療 法 人 同 仁 会	ケ ア セ ン タ ー き す き 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	医 療 法 人 コ ス モ 会	奥 出 雲 コ ス モ 病 院
	有 限 会 社 あ い ね っ と き す き	ケ ア プ ラ ン あ い ね っ と
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	居 宅 介 護 支 援 事 業 所 み と や
	社 会 福 祉 法 人 有 隣 会	社 会 福 祉 法 人 有 隣 会 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	有 限 会 社 ホ ー ム ケ ア ー 島 根	ホ ー ム ケ ア ー 島 根 雲 南 営 業 所
奥 出 雲 町	社 会 福 祉 法 人 よ し だ 福 祉 会	ケ ア プ ラ ン よ し だ
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	居 宅 介 護 支 援 事 業 所 か け や
飯 南 町	社 会 福 祉 法 人 仁 多 福 祉 会	仁 多 福 祉 会 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	社 会 福 祉 法 人 よ こ た 福 祉 会	よ こ た 福 祉 会 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	飯 南 町	飯 南 町 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	社 会 福 祉 法 人 友 愛 会	居 宅 介 護 支 援 事 業 所 愛 寿 園
飯 南 町	社 会 福 祉 法 人 飯 南 町 社 会 福 祉 協 議 会	飯 南 町 社 会 福 祉 協 議 会 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
	飯 南 町	飯 南 町 立 来 島 診 療 所 居 宅 介 護 支 援 事 業 所

地域包括支援センター

市町名	事業所名
雲 南 市	雲 南 市 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー
	雲 南 市 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 大 東
	雲 南 市 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 三 刀 屋
奥 出 雲 町	奥 出 雲 町 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー
飯 南 町	飯 南 町 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー

イ．施設介護サービス（平成18年9月1日現在）

介護老人福祉施設

市町名	事業者名	事業所名	定員
雲 南 市	社 会 福 祉 法 人 島 根 県 社 会 福 祉 事 業 団	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 簸 の 上 園	70
	社 会 福 祉 法 人 か も 福 祉 会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 笑 寿 苑	50
	社 会 福 祉 法 人 き す き 福 祉 会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム さ く ら 苑	50
	社 会 福 祉 法 人 有 隣 会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 梅 里 苑	70
	社 会 福 祉 法 人 雲 南 市 社 会 福 祉 協 議 会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム え が お の 里	50
奥 出 雲 町	奥 出 雲 町	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム あ い サ ン ホ ー ム	50
	社 会 福 祉 法 人 よ こ た 福 祉 会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム む ら く も 苑	50
飯 南 町	社 会 福 祉 法 人 飯 南 町 社 会 福 祉 協 議 会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 愛 寿 園	80
	社 会 福 祉 法 人 飯 南 町 社 会 福 祉 協 議 会	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム あ か ぎ の 里	40

介護老人保健施設

市町名	事業者名	事業所名	定員
雲 南 市	医 療 法 人 同 仁 会	老 人 保 健 施 設 ケ ア セ ン タ ー き す き	60
	医 療 法 人 陶 朋 会	老 人 保 健 施 設 平 成 苑	50
奥 出 雲 町	奥 出 雲 町	奥 出 雲 介 護 老 人 保 健 施 設	81

介護療養型医療施設

市町名	事業者名	事業所名	定員
雲 南 市	公 立 雲 南 総 合 病 院 組 合	公 立 雲 南 総 合 病 院	48
	医 療 法 人 陶 朋 会	平 成 記 念 病 院	36
	個 人	陶 山 診 療 所	16
奥 出 雲 町	奥 出 雲 町	町 立 奥 出 雲 病 院	36
	医 療 法 人 社 団 信 愛 会	永 生 ク リ ニ ッ ク	12

ウ．障害者福祉施設

種 類	施 設 名	所 在 地	設置主体	備 考
入 所 ・ 更 正 施 設	山 楽 園	雲南市掛合町松笠	社会福祉法人 仁寿会	定員 80 人
入 所 ・ 授 産 施 設	山 光 園	雲南市掛合町松笠	社会福祉法人 仁寿会	定員 50 人
入 所 ・ グループホーム	ヴィラ サクラ	雲南市木次町東日登	社会福祉法人 仁寿会	定員 女性 5 人
入 所 ・ グループホーム	ヴィラ さつき	雲南市掛合町掛合	社会福祉法人 仁寿会	定員 男性 4 人
通 所 ・ 授 産 施 設	き す き の 里	雲南市木次町東日登	社会福祉法人 雲南ひまわり福祉会	定員 20 人
通所・デイサービスセンター	ほっとらいふ 雲南	雲南市木次町東日登	社会福祉法人 雲南ひまわり福祉会	定員 15 人
障 害 者 共 同 作 業 所	ほ た る ハ ウ ス	雲南市大東町大東	雲南市	
〃	さ く ら ん ぼ	雲南市木次町新市	雲南市	
〃	しゃぼん玉工房	雲南市三刀屋町古城	雲南市	
〃	せせらぎの家	雲南市掛合町掛合	雲南市	
〃	かも社会就労センター	雲南市加茂町加茂中	加茂町社会福祉協議会	
小規模通所授産施設	け や き の 郷	奥出雲町三成	仁多福祉会	
〃	ふ き の と う	奥出雲町横田	ふきのとう運営委員会	
知的障害者生活ホーム	コ ス モ ス の 家	奥出雲町横田	ふきのとう運営委員会	
身体障害者小規模養護施設	コ ス モ ス	奥出雲町横田	よこた福祉会	
〃	晴 雲 の 里	飯南町頓原	飯南町	

(平成18年4月1日現在)

エ．児童福祉施設

圏域内には19の公立保育所と6つの私立保育所がある。各市町の施設は以下のとおりである。

市町名	保育所(園)名	種別	市町名	保育所(園)名	種別
雲 南 市	雲 南 市 立 大 東 保 育 園	公立	雲 南 市	雲 南 市 立 松 笠 保 育 所	公立
	雲 南 市 立 か も め 保 育 園	〃		雲 南 市 立 入 間 保 育 所	〃
	あおぞら福祉会あおぞら保育園	私立		雲 南 市 立 波 多 保 育 所	〃
	雲 南 市 立 加 茂 保 育 所	公立	奥出雲町	仁多福祉会立阿井保育所	私立
	た ち ば ら 保 育 園	私立		仁多福祉会立三成保育所	〃
	三 代 児 童 館	〃		奥出雲町立横田保育所	公立
	雲 南 市 立 斐 伊 保 育 所	公立		奥出雲町立横田保育所馬木分園	〃
	雲 南 市 立 木 次 保 育 所	〃	飯 南 町	飯 南 町 立 さ つ き 保 育 所	〃
	四 ツ 葉 学 園	私立		飯 南 町 立 桜 ヶ 台 保 育 所	〃
	雲 南 市 立 三 刀 屋 保 育 所	公立		飯 南 町 立 赤 名 保 育 所	〃
	雲 南 市 立 田 井 保 育 所	公立		飯 南 町 立 来 島 保 育 所	〃
	雲 南 市 立 吉 田 保 育 所	〃			
	雲 南 市 立 掛 合 保 育 所	〃			
	雲 南 市 立 多 根 保 育 所	〃			

(平成18年4月1日現在)

(3) 警察、消防・救急施設

①警察署

圏域内には、雲南警察署を本署として、三成広域交番、掛合広域交番及び26箇所の駐在所が配置されている。雲南警察署は雲南管内全域を統括し、三成広域交番は奥出雲町、掛合広域交番は雲南市(吉田町、掛合町)及び飯南町を補完的に管轄している。

警察署・交番・駐在所	管轄エリア
雲 南 警 察 署	雲南管内全域
三 成 広 域 交 番	奥出雲町
掛 合 広 域 交 番	雲南市(吉田町、掛合町)、飯南町
各 駐 在 所	雲南市(15箇所)、奥出雲町(7箇所)、飯南町(4箇所)

(参考) 平成17年4月再編

②常備消防の体制

圏域の消防は、雲南消防本部を中心に、雲南消防署が雲南市（大東町、加茂町、木次町、三刀屋町）を、奥出雲消防署が奥出雲町を、飯南消防署が雲南市（吉田町、掛合町）及び飯南町を主な管轄エリアとし、隣接する地域には最寄の消防署が出動する体制をとっている。

消防署	人員体制	消防車輛配置状況	管轄エリア
雲 南 消 防 本 部	19 名	指揮車 4台 ポンプ車 2台 水槽付ポンプ車 1台 屈折はしご付ポンプ車 1台 救助工作車 1台 広報車 2台 資機材搬送車 1台 救急車 3台	雲南市木次町（平田地区を除く） 雲南市大東町（久野地区を除く） 雲南市加茂町の全域 雲南市三刀屋町の全域 雲南市吉田町田井地区川手（土井を除く） 雲南市掛合町掛合地区（川上・井原谷、大向・平岩・平岩団地・穴見谷を除く）・松笠地区、多根地区
雲 南 消 防 署	41 名		
奥 出 雲 消 防 署	23 名	指揮車 1台 ポンプ車 1台 水槽付ポンプ車 1台 救助工作車 1台 救急車 2台	奥出雲町全域 雲南市大東町久野地区 雲南市木次町平田地区 雲南市吉田町田井地区（大宝・小木・海谷を除く）
飯 南 消 防 署	23 名	指揮車 1台 ポンプ車 1台 水槽付ポンプ車 1台 救助工作車 1台 救急車 2台	飯南町全域 雲南市吉田町（田井地区を除く） 雲南市掛合町（雲南消防署出動区域を除く）

資料：雲南消防本部（平成18年4月1日現在） ※人員体制について、雲南消防組合から県への派遣 2 名を除く。

③非常備消防の体制

圏域内の非常備消防の体制は、以下のとおりである。

市町名	組織・団員数（定数）	装 備
雲 南 市	6方面隊 35分団 1,391名、（定数：1,442名）	ポンプ車15台 小型ポンプ積載車90台
奥 出 雲 町	9分団 640名、（定数：671名）	ポンプ車12台 小型ポンプ積載車36台
飯 南 町	13分団 351名、（定数：360名）	ポンプ車 4台 小型ポンプ積載車27台

（平成18年4月1日現在）

（４）教育・文化施設

①教育施設

圏域内の教育施設として、小学校が40校、中学校が11校、高校が5校、専門学校が2校ある。それぞれの詳細は、以下のとおりである。

市町名	小学校	中学校	高等学校	専門学校	総数
雲 南 市	25	7	3	-	35
奥 出 雲 町	11	2	1	2	16
飯 南 町	4	2	1	-	7
圏域計	40	11	5	2	58

資料：学校基本調査等（平成18年5月1日現在）

ア．幼稚園

市町名	園 数	学級数	園児数	教員数
雲 南 市	16	46	614	65
奥 出 雲 町	10	18	226	33
飯 南 町	-	-	-	-
圏域計	26	64	840	98

資料：「学校基本調査」（平成18年5月1日現在） ※教員数には教育補助員を含む。

イ．小・中学校

市町名	小学校				中学校			
	学校数 (本・分校)	学級数	児童数	教員数	学校数	学級数	生徒数	教員数
雲 南 市	25	159	2,361	256	7	53	1,284	120
奥 出 雲 町	11	66	845	111	2	18	486	41
飯 南 町	4	24	262	39	2	8	182	24
圏域計	40	249	3,468	406	11	79	1,952	185

資料：「学校基本調査」(平成18年5月1日現在)

ウ．高等学校

市町名	学校数 (本・分校)	生徒数	教員数
雲 南 市	3	1,101	92
奥 出 雲 町	1	440	36
飯 南 町	1	153	23
圏域計	5	1,694	151

資料：「学校基本調査」(平成18年5月1日現在)

エ．専門学校

市町名	専門学校の概要	
奥 出 雲 町	島根リハビリテーション学院	理学療法科:4年制(定員30名)、作業療法科:4年制(定員30名)
	島根デザイン専門学校	各学科:2年制 ビジュアルデザイン科、デジタルメディア科、陶芸科、クラフトデザイン科、ガーデニングデザイン科

②社会教育施設

圏域の主な社会教育施設は、以下のとおりである。

市町名	施設名	市町名	施設名
雲 南 市	大 東 図 書 館	雲 南 市	体 育 文 化 セ ン タ ー
	大 東 公 民 館		幡 屋 体 育 館
	春 殖 公 民 館		島 根 大 東 ク レ ー 射 撃 場
	幡 屋 公 民 館		文 化 ホ ー ル 「 ラ メ ー ル 」
	佐 世 公 民 館		な か よ し ホ ー ル
	阿 用 公 民 館		加 茂 中 央 公 園 ス ポ ー ツ の 丘 野 球 場
	久 野 公 民 館		加 茂 中 央 公 園 ス ポ ー ツ の 丘 多 目 的 広 場
	海 潮 公 民 館		加 茂 中 央 公 園 ス ポ ー ツ の 丘 テ ニ ス コ ー ト
	塩 田 公 民 館		加 茂 中 央 公 園 ふ れ あ い の 丘 多 目 的 広 場
	大 東 ふ れ あ い セ ン タ ー 交 流 館		加 茂 中 央 公 園 ふ れ あ い の 丘 タ ー ゲ ッ ト ・ バ ー ド ゴ ル フ 場
	大 東 農 村 環 境 改 善 セ ン タ ー		加 茂 中 央 公 園 ふ れ あ い の 丘 デ ィ ス ク ゴ ル フ 場
	大 東 陸 上 競 技 場		加 茂 町 B & G 海 洋 セ ン タ ー 屋 内 プ ー ル
	大 東 公 園 野 球 場		加 茂 町 B & G 海 洋 セ ン タ ー 体 育 館
	大 東 公 園 多 目 的 広 場		加 茂 図 書 館
	大 東 公 園 体 育 館 (大 東 町 民 体 育 館)		木 次 図 書 館
	大 東 公 園 庭 球 場		木 次 公 民 館
	大 東 公 園 桜 の 広 場 (丸 子 山 公 園)		斐 伊 公 民 館
	大 東 公 園 集 い の 広 場 (丸 子 山 公 園)		日 登 公 民 館
	大 東 公 園 ち び っ こ 広 場 (丸 子 山 公 園)		西 日 登 公 民 館
	大 東 公 園 チ ャ レ ン ジ 広 場 (丸 子 山 公 園)		温 泉 公 民 館
	大 東 ふ れ あ い 運 動 場 陸 上 競 技 場		勤 労 青 少 年 ホ ー ム
	大 東 ふ れ あ い 運 動 場 球 技 場		木 次 勤 労 者 総 合 福 祉 セ ン タ ー
	大 東 ふ れ あ い セ ン タ ー 多 目 的 広 場		チ ェ リ ヴ ァ ホ ー ル
	大 東 ふ れ あ い セ ン タ ー 体 育 館		斐 伊 高 齢 者 活 動 促 進 施 設

市町名	施設名	市町名	施設名
雲 南 市	西 日 登 高 齢 者 活 動 促 進 施 設	雲 南 市	町 民 野 球 球 場
	木 次 運 動 公 園 野 球 場		運 動 公 園
	日 登 市 民 運 動 場		町 民 プ ー ル
	斐 伊 運 動 場		町 民 体 育 館
	温 泉 水 泳 プ ー ル		体 育 振 興 セ ン タ ー (武 道 館)
	西 日 登 水 泳 プ ー ル		中 央 公 民 館
	寺 領 水 泳 プ ー ル		布 勢 公 民 館
	木 次 水 泳 プ ー ル		亀 嵩 公 民 館
	斐 伊 水 泳 プ ー ル		阿 井 公 民 館
	木 次 体 育 館		三 沢 公 民 館
	斐 伊 体 育 館	奥出雲町	奥 出 雲 町 農 村 環 境 改 善 セ ン タ ー
	健 康 の 森		奥 出 雲 町 勤 労 福 祉 セ ン タ ー プ ー ル
	斐 伊 川 河 川 敷 公 園		三 成 公 園 野 球 場
	三 日 市 地 域 福 祉 サ ブ セ ン タ ー		三 成 公 園 陸 上 競 技 場
	八 日 市 地 域 福 祉 サ ブ セ ン タ ー		三 成 公 園 テ ニ ス 場
	下 熊 谷 地 域 福 祉 サ ブ セ ン タ ー		三 成 公 園 ホ ッ ケ ー 場
	温 泉 高 齢 者 活 動 促 進 施 設		町 民 体 育 館
	木 次 町 高 齢 者 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー		弓 道 場
	新 市 中 央 集 会 所		上 阿 井 運 動 広 場
	日 登 高 齢 者 交 流 施 設		下 阿 井 運 動 広 場
	斐 伊 高 齢 者 交 流 施 設		八 代 運 動 広 場
	雲 南 市 生 き が い と 創 造 の 作 業 場		三 沢 運 動 広 場
	漆 仁 の 里 交 流 館		亀 嵩 運 動 広 場
	木 次 町 郷 土 文 化 保 存 施 設 伝 習 施 設		亀 嵩 地 区 町 民 プ ー ル
	木 次 健 康 温 泉 セ ン タ ー (お ろ ち 湯 っ た り 館)		阿 井 地 区 町 民 プ ー ル
	木 次 就 業 改 善 セ ン タ ー		屋 内 ゲ ー ト ボ ー ル 場 (す ば ー く 仁 多)
	木 次 林 業 総 合 セ ン タ ー		鳥 上 公 民 館
	三 刀 屋 公 民 館		横 田 公 民 館
	一 宮 公 民 館		八 川 公 民 館
	飯 石 公 民 館		馬 木 公 民 館
	鍋 山 公 民 館		奥 出 雲 町 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー
	中 野 公 民 館		横 田 公 園 陸 上 競 技 場
	ふ れ あ い 福 祉 セ ン タ ー		横 田 公 園 野 球 場
	文 化 体 育 館 「 ア ス パ ル 」		横 田 公 園 多 目 的 広 場
	文 化 体 育 館 広 場 (ゲ ー ト ボ ー ル 場)		横 田 公 園 テ ニ ス コ ー ト
	明 石 ふ れ あ い 館		横 田 公 園 プ ー ル
	明 石 緑 が 丘 公 園 (野 球 場)		八 川 運 動 公 園
	明 石 緑 が 丘 公 園 多 目 的 広 場 (サ ッ カ ー 場)		鳥 上 運 動 公 園
	明 石 緑 が 丘 公 園 (テ ニ ス 場)		馬 木 運 動 公 園
	明 石 緑 が 丘 公 園 (ゲ ー ト ボ ー ル 場)		横 田 農 村 婦 人 の 家
	明 石 緑 が 丘 公 園 (パ ー ク ゴ ル フ 場)	飯 南 町	町 立 図 書 館
	河 川 敷 レ ク リ エ ー シ ョ ン 広 場 (グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 場)		生 涯 学 習 セ ン タ ー
	河 川 敷 レ ク リ エ ー シ ョ ン 広 場 (ボ ー ト 場)		頼 原 公 民 館
	河 川 敷 レ ク リ エ ー シ ョ ン 広 場 (ゲ ー ト ボ ー ル 場)		志 々 公 民 館
	吉 田 公 民 館		町 民 グ ラ ウ ン ド
	田 井 公 民 館		頼 原 町 民 野 球 場
	農 村 環 境 改 善 セ ン タ ー		志 々 町 民 プ ー ル
	勤 労 者 体 育 セ ン タ ー		頼 原 町 民 プ ー ル
	グ リ ー ン シ ャ ワ ー の 森 テ ニ ス コ ー ト		志 々 ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー
	生 涯 学 習 交 流 館		緑 地 公 園 内 ゲ ー ト ボ ー ル 場
	深 谷 山 村 広 場 (ゲ ー ト ボ ー ル 場)		赤 名 公 民 館
	掛 合 公 民 館		来 島 公 民 館
	多 根 公 民 館		谷 公 民 館
	松 笠 公 民 館		山 村 広 場
	波 多 公 民 館		町 民 グ ラ ン ド
	入 間 公 民 館		町 民 テ ニ ス コ ー ト

③文化施設

圏域の文化施設としては、以下のようなものがある。

市町名	施設名	市町名	施設名
雲 南 市	古 代 鉄 歌 謡 館	奥 出 雲 町	奥 出 雲 多 根 自 然 博 物 館
	神 楽 の 宿		可 部 屋 集 成 館
	空 外 記 念 館		た た ら 角 炉 伝 承 館
	文 化 ホ ー ル「ラメール」		奥 出 雲 た た ら と 刀 剣 館
	チ ェ リ ヴ ァ ホ ー ル		絲 原 記 念 館
	永 井 隆 記 念 館		横 田 郷 土 資 料 館
	文 化 体 育 館 ア ス パ ル		雲 州 そ ろ ば ん 伝 統 産 業 会 館
	鉄 の 歴 史 博 物 館		そ ろ ば ん と 工 芸 の 館
	鉄 の 未 来 科 学 館	飯 南 町	民 俗 資 料 館
	山 内 生 活 伝 承 館		
	木 の 国 文 化 館		

(5) 情報通信施設

圏域では、平成6年12月に旧掛合町が農村型CATV「かけやコミュニケーションテレビジョン」を開局して以来、平成9年7月には旧仁多町で「ジョーホーにた」、平成11年4月には旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町が共同で「KKMテレビ雲南」、同年8月には旧赤来町が「コミュニティネットあかぎ」、平成14年4月には旧大東町が「DAITOよいとこネット」を開局した。

旧吉田村・旧頓原町は、平成15年に旧掛合町・旧赤来町との広域CATV網により放送区域を拡大、平成18年中には奥出雲町横田地域でCATV放送を開始する予定であり、雲南圏域全域でCATV網が構築されることとなる。

これらのCATV回線の普及によって、インターネットサービスをはじめ、音声告知放送、IP電話サービスなど、住民にとって便利で各種情報の入手がより容易な環境となった。

また、地上デジタル放送への対応、CATV事業者間のネットワーク化がすすめられ、圏域内の情報基盤整備は着々と進んでいる。

情報通信施設 CATV等の現状

市町名	名称	放送区域、利用サービス	備 考
雲 南 市 飯 南 町	雲南市・飯南町事務組合 平成17年1月改称 「雲南夢ネット」 平成16年11月統合	大東局 → 雲南市大東町 CATV・インターネット 音声告知放送・有線電話・IP電話	「DAITOよいとこネット」 平成14年4月開局
		木次局 → 雲南市加茂町、木次町、三刀屋町 CATV・インターネット 音声告知放送（一部）…雲南市直営有線電話（一部）…農協運営	「KKM テレビ雲南」 平成11年4月開局
		掛合局、飯南局 → 雲南市吉田町、掛合町 飯南町 CATV・インターネット・音声告知放送	「かけやコミュニケーションテレビジョン」 平成6年12月開局 「コミュニティネットあかぎ」 平成11年8月開局 平成15年4月 「いいし夢ネット」として統合
奥出雲町	奥出雲町情報通信協会	奥出雲町 ・仁多地域 ・横田地域 CATV・インターネット・音声告知放送有線電話・（IP電話）	「ジョーホーにた」 平成9年7月開局

VI. 観光資源

(1) 主な観光（地域）資源

圏域内の主な観光資源としては、以下のようなものがある。

市町名		自然資源	歴史資源	文化資源	産業・食資源	施設資源
雲南市	大東町	赤川ほたる	須我神社 古代鉄歌謡館	海潮神代神楽		海潮温泉 かみくの桃源郷 健康ランドゆとりの里
	加茂町		加茂岩倉遺跡 神原神社古墳	空外記念館		ターゲットバードゴルフ場
	木次町	斐伊川堤防桜並木			食の杜 奥出雲葡萄園 奥出雲ワイン&乳製品 焼さば寿司	おろちゆったり館 きすき健康の森 出雲湯村温泉
	三刀屋町	雲見の滝 緑の桜御衣黄	峯寺	永井隆記念館	峯寺精進料理	明石緑が丘公園 みとや深谷温泉
	吉田町	吉田公園ツツジ	鉄の未来科学館 鉄の歴史博物館 菅谷たたら山内	内藤伸記念館		出雲湯村温泉 吉田グリーンシャワーの森 芦谷峡釣り堀り
	掛合町	龍頭が滝 八重滝				ふれあいの里奥出雲公園 クラシック島根カントリークラブ 波多温泉 満壽の湯
奥出雲町		鬼の舌震 玉峰山 鯛の巣山 吾妻山 船通山 延命水	可部屋集成館 三沢城跡 たたら角炉伝承館 日刀保たたら 絲原記念館 奥出雲たたらと刀剣館	奥出雲多根自然博物館 砂の器記念碑 三成愛宕祭 阿位八幡宮	算盤・工芸 そば 雲州そろばん伝統産業会館 そろばんと工芸の館	亀嵩温泉玉峰山荘 酒蔵 奥出雲交流館 サイクリングターミナル 奥出雲おろちループ橋 斐乃上温泉ヴィラ船通山 三井野原スキー場
飯南町		赤名湿地性植物群落 大万木山 琴引山 女亀山 東三瓶フラワーバレー 赤名観光ぼたん園	赤穴八幡宮 三神像	由来八幡宮 頭屋祭行事 道の駅赤来高原 花工房	そば 赤来高原観光りんご園 道の駅赤来高原 薬膳料理	琴引フォレストパークスキー場 赤名スキー場 琴引ビレッジ山荘 頓原温泉琴乃宿 加田の湯 憩いの郷衣掛 県民の森

(2) 観光入込み客数の推移

圏域内の観光入込み客数は、近年、以下のように推移している。

市町名	観光地・観光施設名	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年
雲南市	かみくの桃源郷	10,951	6,379	6,530	6,891	7,002	11,911
	海潮温泉	104,142	100,267	97,092	89,016	86,142	64,156
	ゆとりの里	47,515	46,312	47,145	61,341	71,754	71,904
	古代鉄歌謡館	6,556	6,868	9,378	8,293	9,084	10,250
	海洋センター	24,740	20,198	22,798	24,867	28,177	30,142
	加茂岩倉遺跡	10,200	8,750	5,762	12,050	11,200	7,675
	斐伊川堤防	85,000	95,000	95,000	120,000	110,000	100,000
	木次町健康の森	24,965	25,339	26,430	28,545	27,656	27,558
	出雲湯村温泉	25,346	48,718	48,704	49,144	86,607	60,094
	おろち湯ったり館	171,803	169,881	171,147	169,463	160,700	137,847
	明石緑が丘公園	34,814	47,234	48,339	47,541	49,423	43,199
	ふかたに温泉ふかたに荘	17,011	15,581	14,078	12,768	11,605	11,428
	芦谷峡・やまめの里	6,777	5,543	5,787	4,805	4,729	4,934
	鉄の歴史博物館	5,410	4,621	4,560	4,201	3,758	4,519
	鉄の未来科学館	3,025	2,414	2,776	2,283	2,191	2,127
	山内生活伝承館	4,251	3,819	3,864	3,228	2,908	3,026
	吉田グリーンシャワーの森	2,453	2,301	2,929	2,440	2,420	1,734
	龍頭八重滝県立自然公園	61,460	66,970	61,050	60,400	60,070	58,220
	ふれあいの里奥出雲公園	33,540	33,430	30,380	19,470	14,175	6,078
	クラシック島根カントリークラブ	30,526	24,809	22,475	20,758	19,051	16,539
計		710,485	734,434	726,224	747,504	768,652	673,341
奥出雲町	鬼の舌震	60,560	89,880	97,900	100,220	103,850	100,000
	可部屋集成館	4,105	5,571	7,641	8,061	8,442	4,340
	奥出雲多根自然博物館	3,368	3,872	4,931	6,345	5,297	3,626
	玉峰山森林公園	2,310	4,259	4,804	5,140	5,770	3,500
	玉峰山荘	-	128,937	173,856	180,172	185,906	162,937
	吾妻山	1,252	1,550	1,650	1,900	1,900	1,500
	絲原記念館	21,659	27,935	26,843	24,831	19,975	16,432
	奥出雲たたらと刀剣館	9,275	8,342	8,820	8,702	8,127	8,603
	三井野原スキー場	23,910	22,250	20,195	21,020	19,550	8,000
	道の駅おろちループ	190,100	185,600	167,700	162,900	172,900	156,400
	交流館「三国」	60,320	66,840	63,930	59,650	68,190	61,030
	ヴィラ船通山斐乃上荘	-	72,269	70,406	63,870	62,142	59,520
計		376,859	617,305	648,676	642,811	662,049	585,888
飯南町	高木しょうぶ園	20,014	20,000	7,000	-	-	-
	東三瓶フラワーバレー	14,000	9,000	10,000	14,800	9,900	13,000
	琴引フォレストパーク	41,993	41,132	37,511	30,675	28,369	31,978
	琴引ビレッジキャンプ場	398	129	501	1,895	1,653	1,671
	琴引ビレッジ山荘	19,413	21,200	26,175	24,940	26,033	19,044
	頓原地区全域釣り	386	306	817	920	1,049	839
	道の駅頓原	-	-	-	-	80,014	48,821
	赤名観光ぼたん園	20,000	25,500	22,550	18,300	18,950	14,890
	赤来高原スキー場	3,294	2,720	1,458	3,059	2,260	2,300
	来島湖畔	1,250	1,500	1,130	880	820	-
	県民の森	14,818	14,253	20,057	18,690	8,097	2,145
	道の駅赤来高原	-	-	112,208	96,225	63,989	86,210
	加田の湯	-	-	-	-	-	44,888
計		135,566	135,740	239,407	210,384	241,134	265,786
雲南圏域	合計	1,222,910	1,487,479	1,614,307	1,600,699	1,671,835	1,525,015
	県対比	4.7%	5.7%	6.4%	6.4%	6.6%	5.9%
	島根県合計	25,956,134	26,051,520	25,230,933	25,163,902	25,185,064	26,058,215

資料：島根県観光動態調査結果